

1284

閣 者 第 一 二 號



受 領 番 號 第 二 五 八 九 号	應 名 通 信 者	件 名 旅 順 口 光 毅 山 燈 台 外 三 燈 台 用 法 地 永 久 使 用 件	大 臣 次 官 高 級 副 官 主 務 副 官 主 計	決 裁 參 事 官 主 務 局 長 主 務 課 長 主 務 課 員	主 務 局 課 受 領 出 提 領 受 號 番 明 治 十 年 十 月 十 八 日 明 治 十 年 十 二 月 廿 三 日 明 治 十 年 十 月 日 聯 帶 局 長 聯 帶 課 長 審 案 筆 記 者
------------------------	--------------	--	---	---	--

五月



高級副官ヨリ 関東都督府陸軍參謀長へ

照會案

清國旅順口老鉄山燈臺外三燈其臺用敷地永
久使用ノ義ニ付 別紙ノ通達信大臣ヨリ照會
有之ルニ就テハ何カノ意見申出相成度

追テ別紙圖書ニ御用諸次方所迄戻有本

年

陸軍省 送達 陸普第一〇一〇の 號

十二月廿四日

関東都督府ヨリ 四答アリタル後

通達信大臣へ 回答案



先録

旅順口燈臺外三燈臺用敷地永久使用ノ義
ニ付経第ニ七四号ヲ以テ照會ノ趣了業九ハ
支障無之ヲ存旅順要塞司令部ヨリ受領
相成度此段及回答也

三月一日

関東都督府へ達案

旅順口老鉄山燈臺外三燈臺用敷地トシテ別
紙図面ノ箇所ヲ通信省ノ永久使用ニ供シ候
ニ付旅順要塞司令部ヨリ引渡取計ニ公認

九八七

三月一日



皇田

軍五

1287

經第二七四號

陸軍部 陸軍省 陸軍第二五八九號

陸軍

五月六日

評文書

陸軍部 第一二二二號

陸軍

五月六日

五月六日

五月六日

四月二十七日

通令 五五 少 阿 三 三

陸軍部 陸軍省 陸軍第二五八九號

陸軍部 陸軍省 陸軍第二五八九號

照会

南者以發清國旅順口老嶺山嶺者志外
三燈者志地トシテ貴者主及左記ト出
使用ノ件旅順要塞ヲ守ルニ必要ナル
以テ本領内ノ通商口岸ヲ爲スルニ
使月背及以保其支無之少ト甘言
者矣 均 均

清心旅凡口先法山地志也

一 地志云此地而廣者千石坪一三九一

一 第一物置所(倉庫)也地曰石六坪 七方三

一 曰上階近者為揚土也石六坪 八八八

一 堀井也曰九坪

一 道海 地志云此地境界より為揚土堀井

及公道ニ云此道長約五石九百石中

約六尺

曰老弟尾地志也

一 地志云此地現在建物區劃外方約四尺ノ

距離より為海原ノ云々線也

一 道海 長考五石七石中六尺

曰白金山地志也

一高麗各地面積の別

一低地帯地現在冊域内、日本領面積

約四割に達す

一遼東低地帯高麗と交通路一部

欠く可なり

遼東大連湾口南三山地方

一地方面積約五千七百坪

以上各地方

旅司工費第二三号

明治四十年五月二十日

旅順要塞司令官

航路標識管理所長殿

航會才一四〇号法照會之件了承道
 般老鏡山外三燈台敷地ニ関シ法申越
 之証旨ニ基キ当該燈台監守ト當部々
 負ト立會實地境界取調ニ別紙圖面四
 通調製仕給老鏡山及三山島燈台敷
 地ニ現在五千名一地圖ニ依リ境界ヲ
 定メ候道ニ其地積ヲ測量口ニハ

多数ノ日教ト測量者ヲ要スル為メ也
 部ニ於テモ直ニ着手致業居テ付此
 儀法遂ニ出有之度將亦土地管理替ニ就
 テハ夫ト新管兩有間之協議ヲ要スル
 儀ト波存長ニ付可然以取計ホキ度此
 後及以回答矣也

國策會館編輯局活版工機印

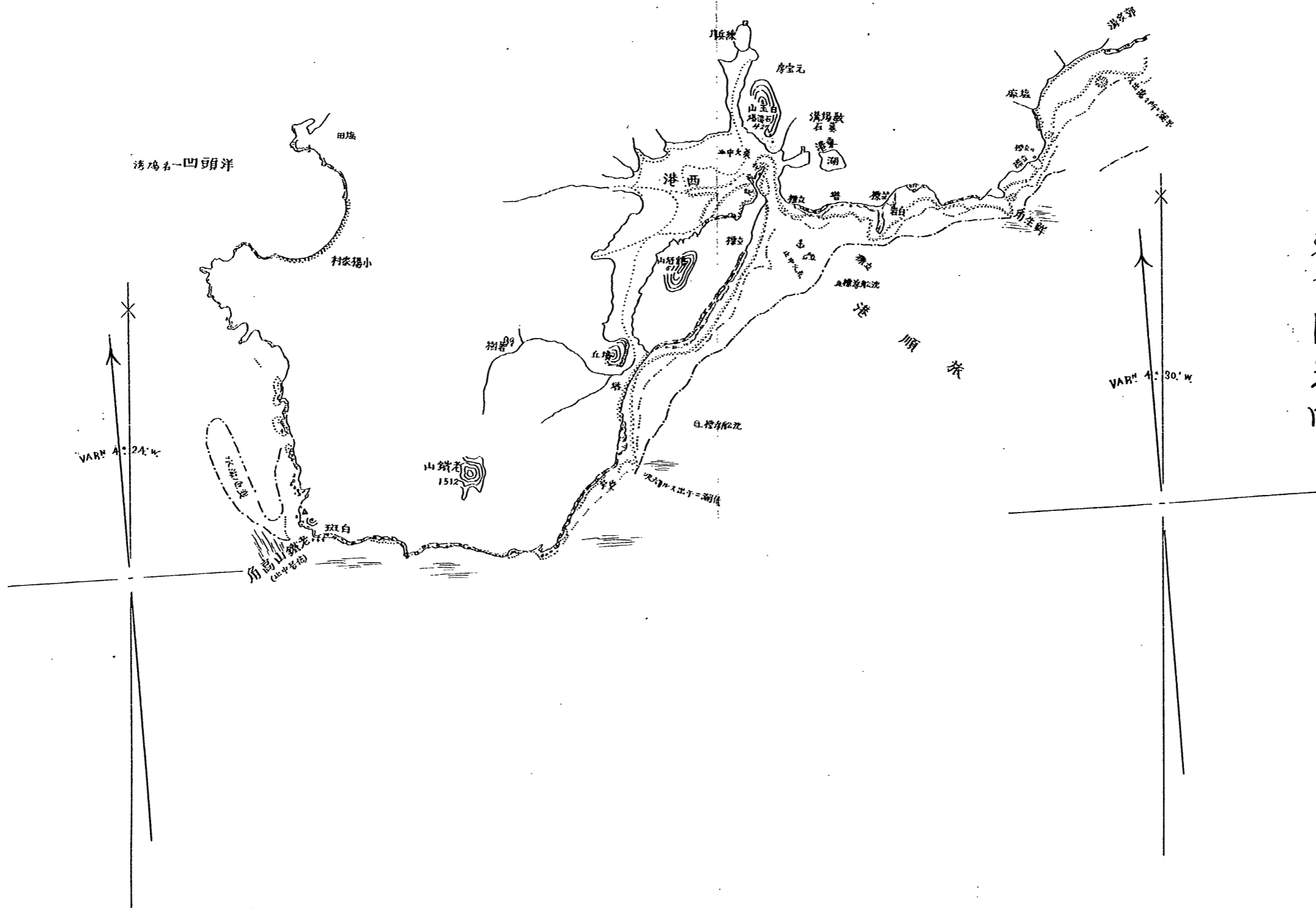
明治四十年二月十九日

旅順要塞司令部工務部支那部重直

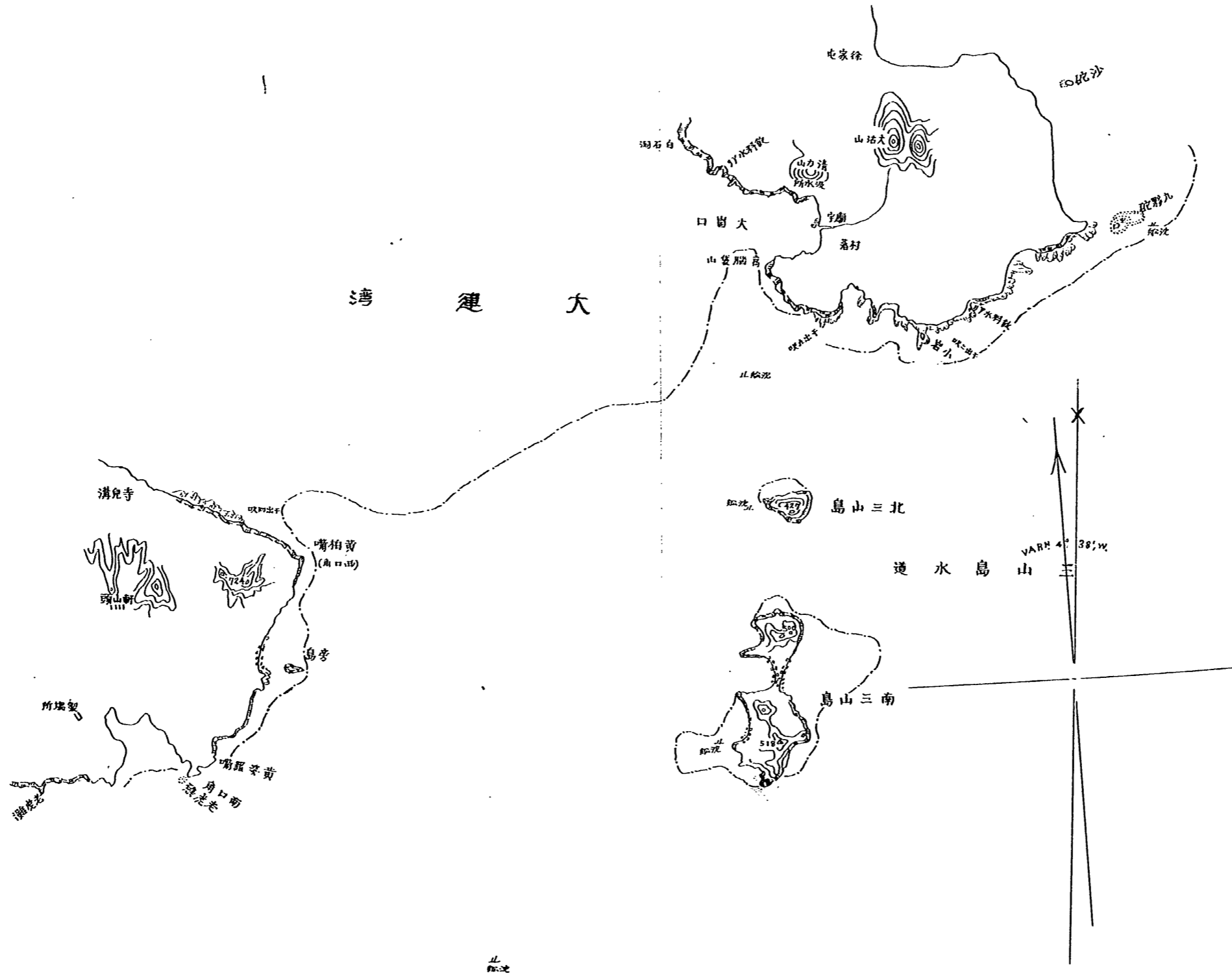
航路標識管理所杜河本升惟次殿

去儿八日附了以了 南部並 = 大連派出
 所、以送附北東は老鏡山及南三山島
 燈臺敷地圖面各部並調査、結果存在
 無之 = 各各是並正 = 交領各是並ハ及
 送送長島所来意之通り取計可也
 卜存在条中候及担答及知

1293




雙水山、白土山、雙水河、教、沿、岸、圖



南島群島各島長岸位置圖

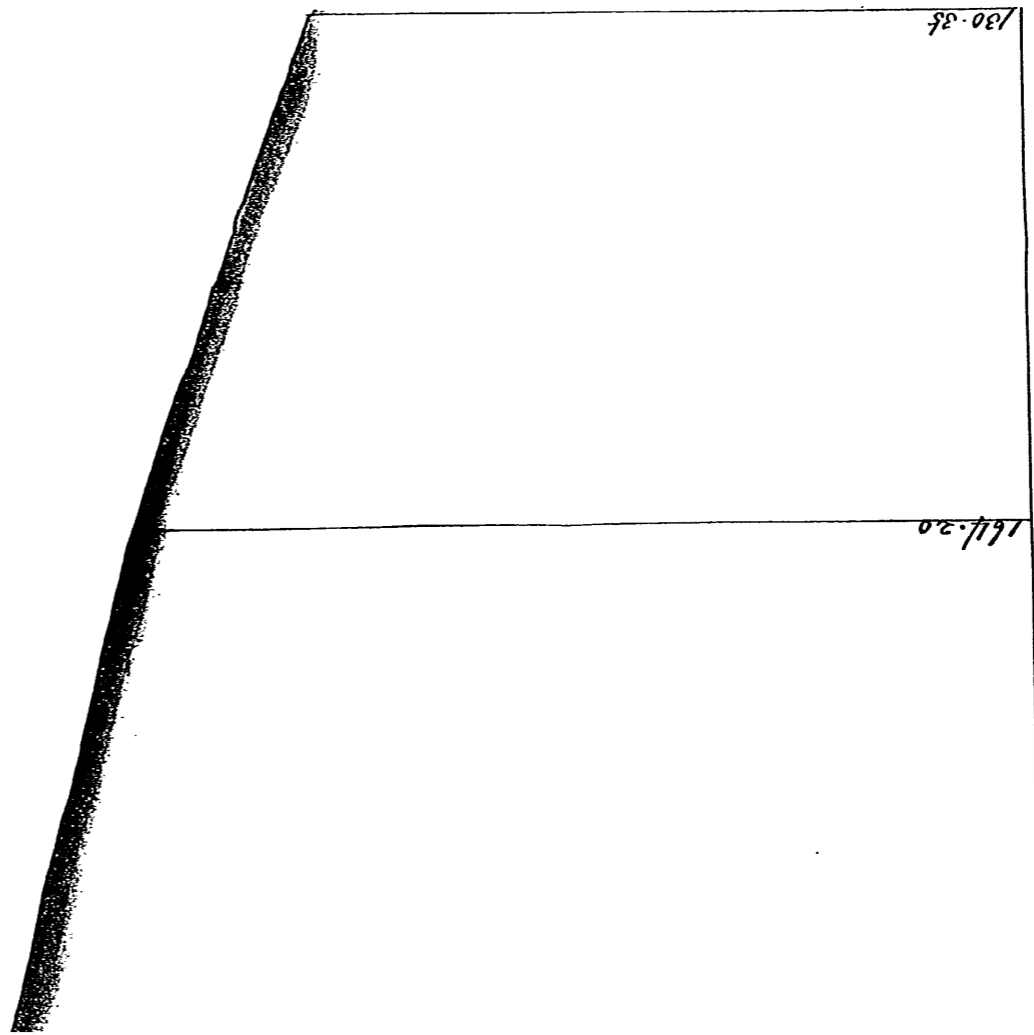
分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="528 488 1018 846"><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	7	8	9	4	5	6	1	2	3
7	8	9								
4	5	6								
1	2	3								
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため									
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>9 年 8 月 29 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>										

1295



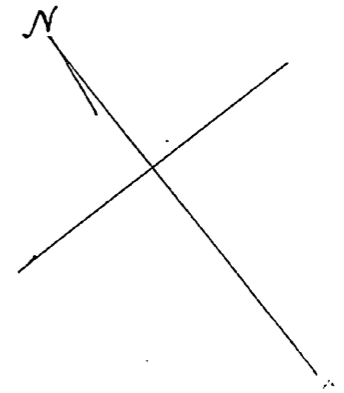
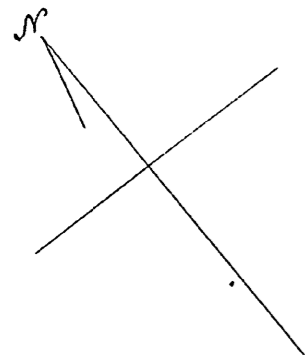
南三



130-35

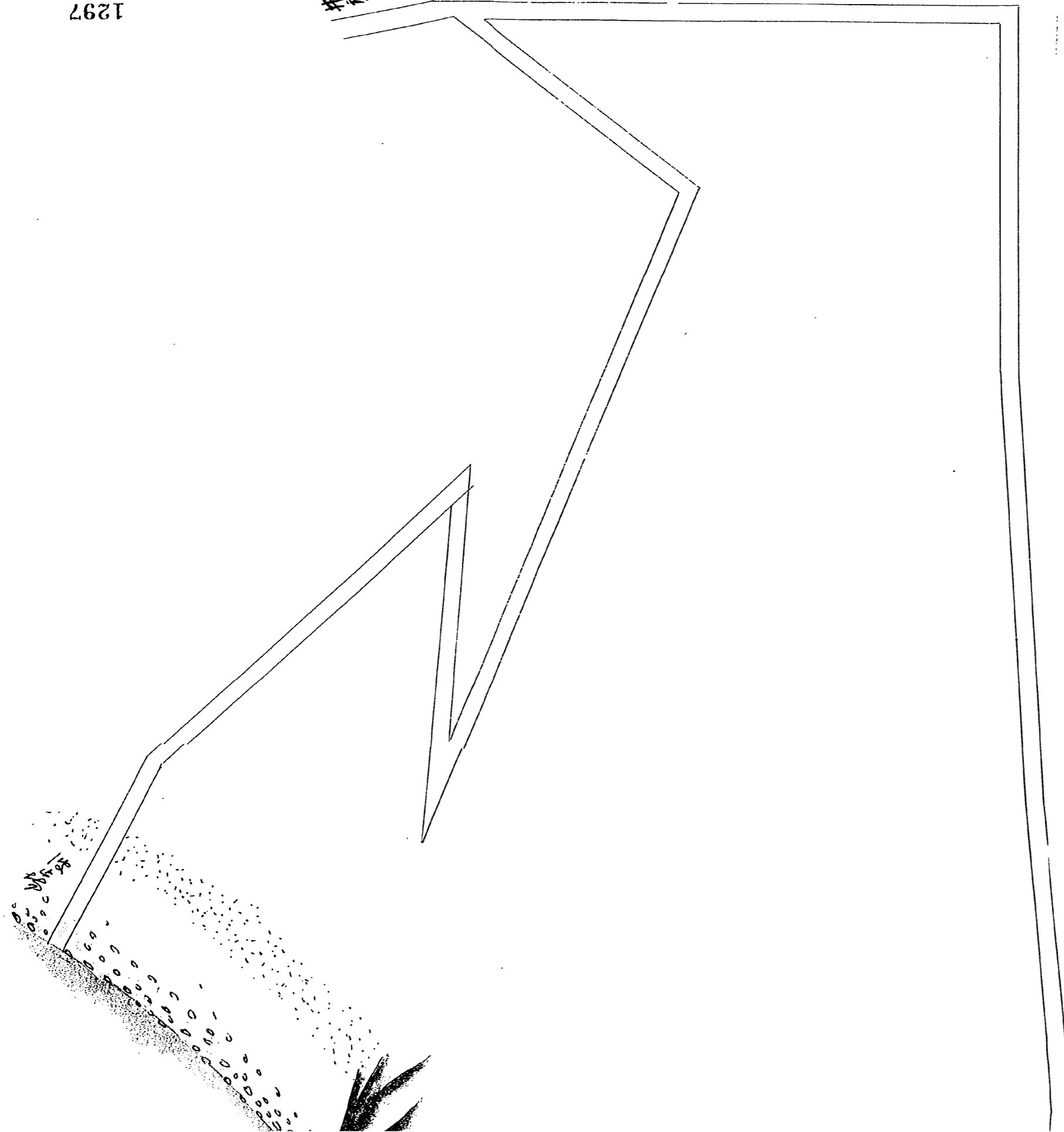
161-20

南三山島燈台敷地及道路圖



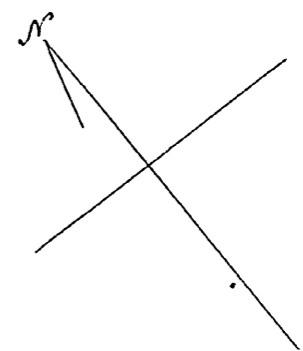
1297

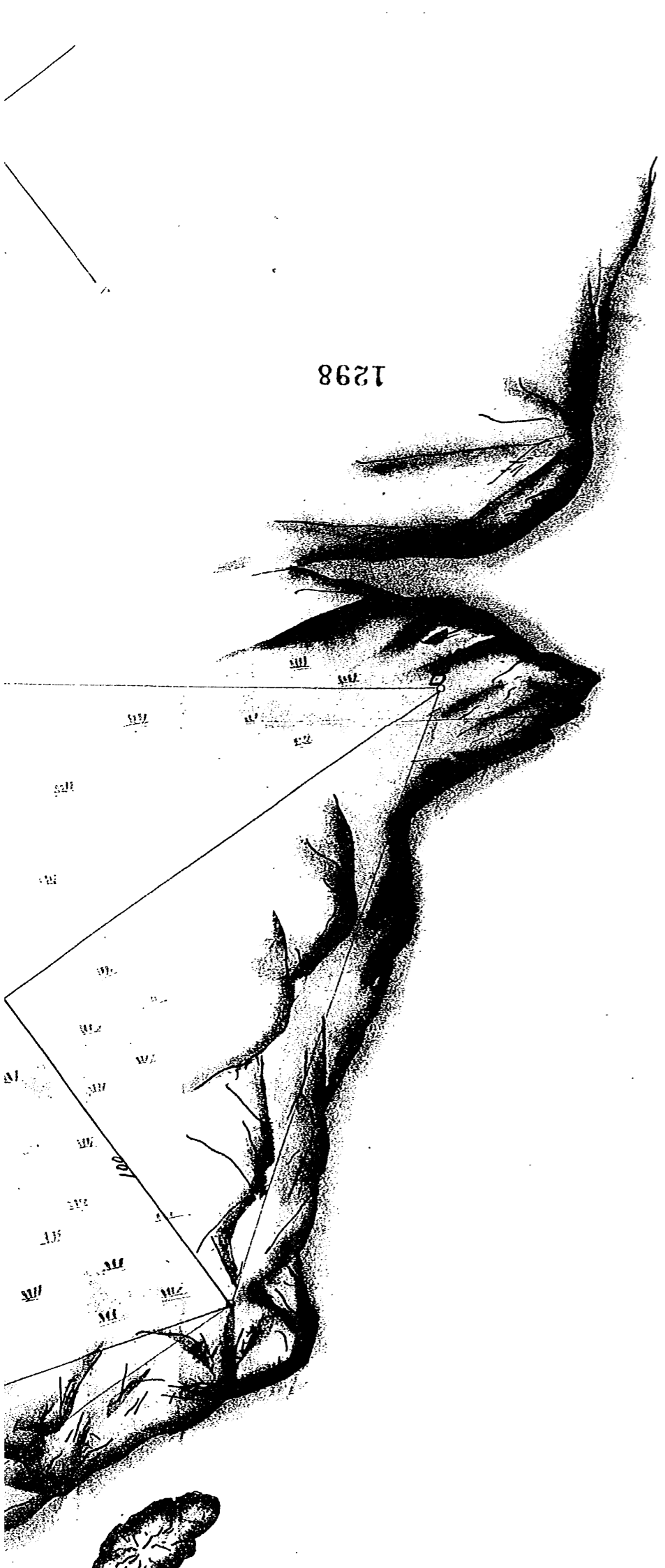
Handwritten Japanese characters, possibly a date or site name.



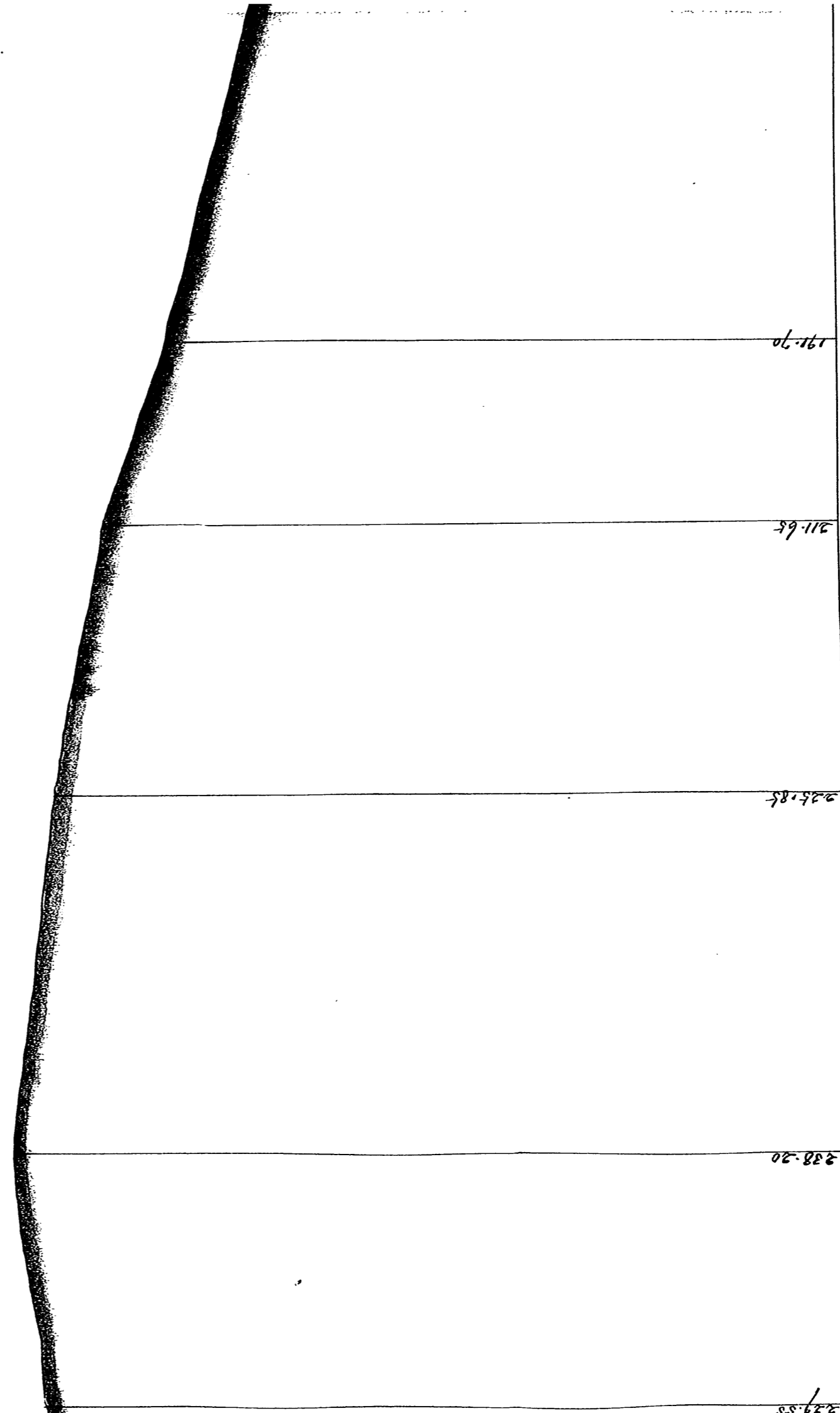
1296

圖





1298



191.70

211.65

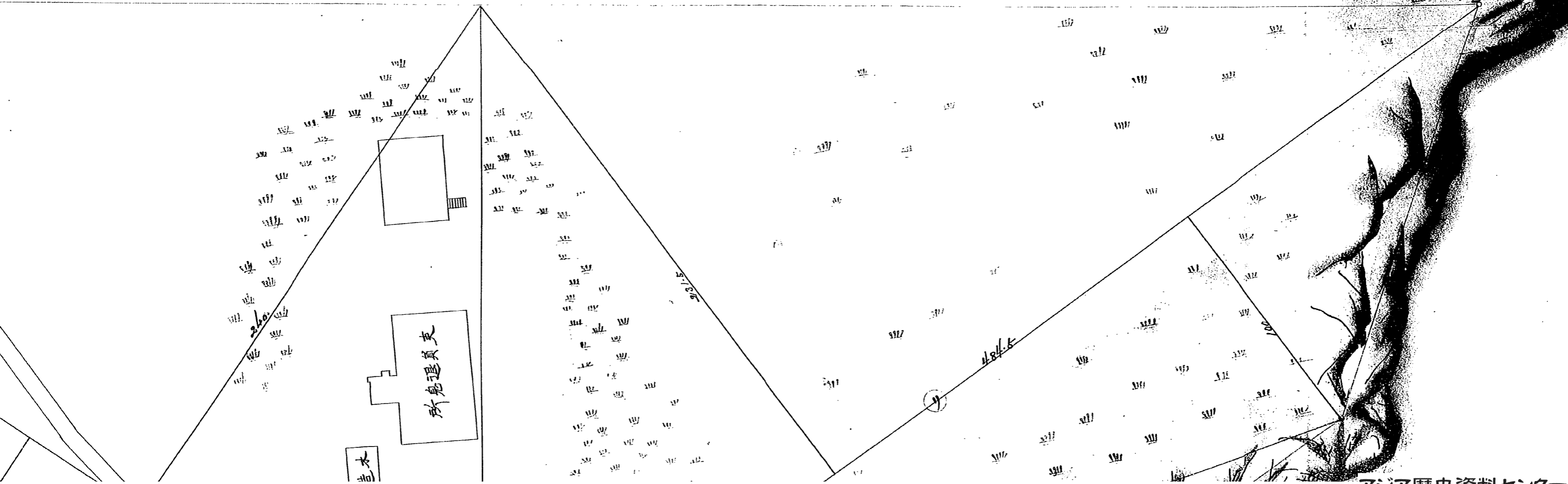
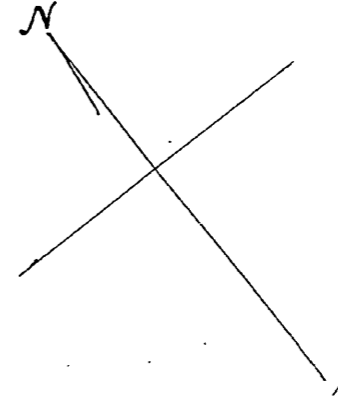
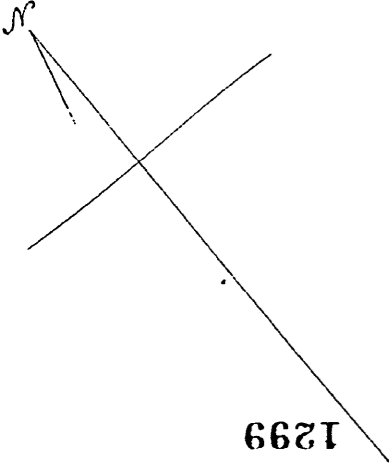
225.85

238.20

251.65

A. B. 概図

南三山島燈台敷地及道路圖

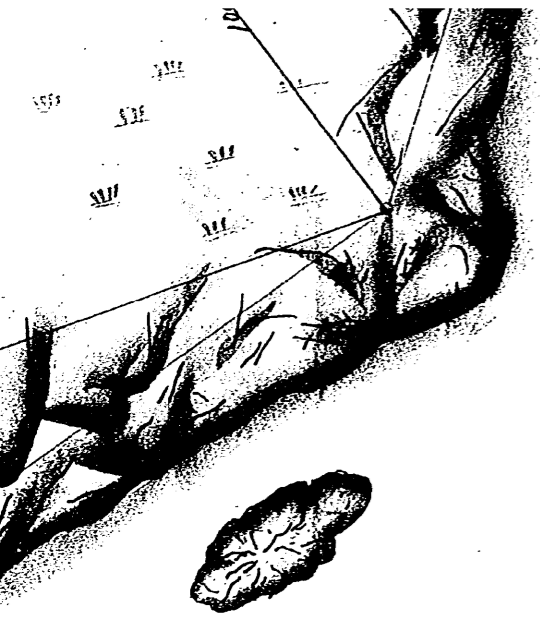




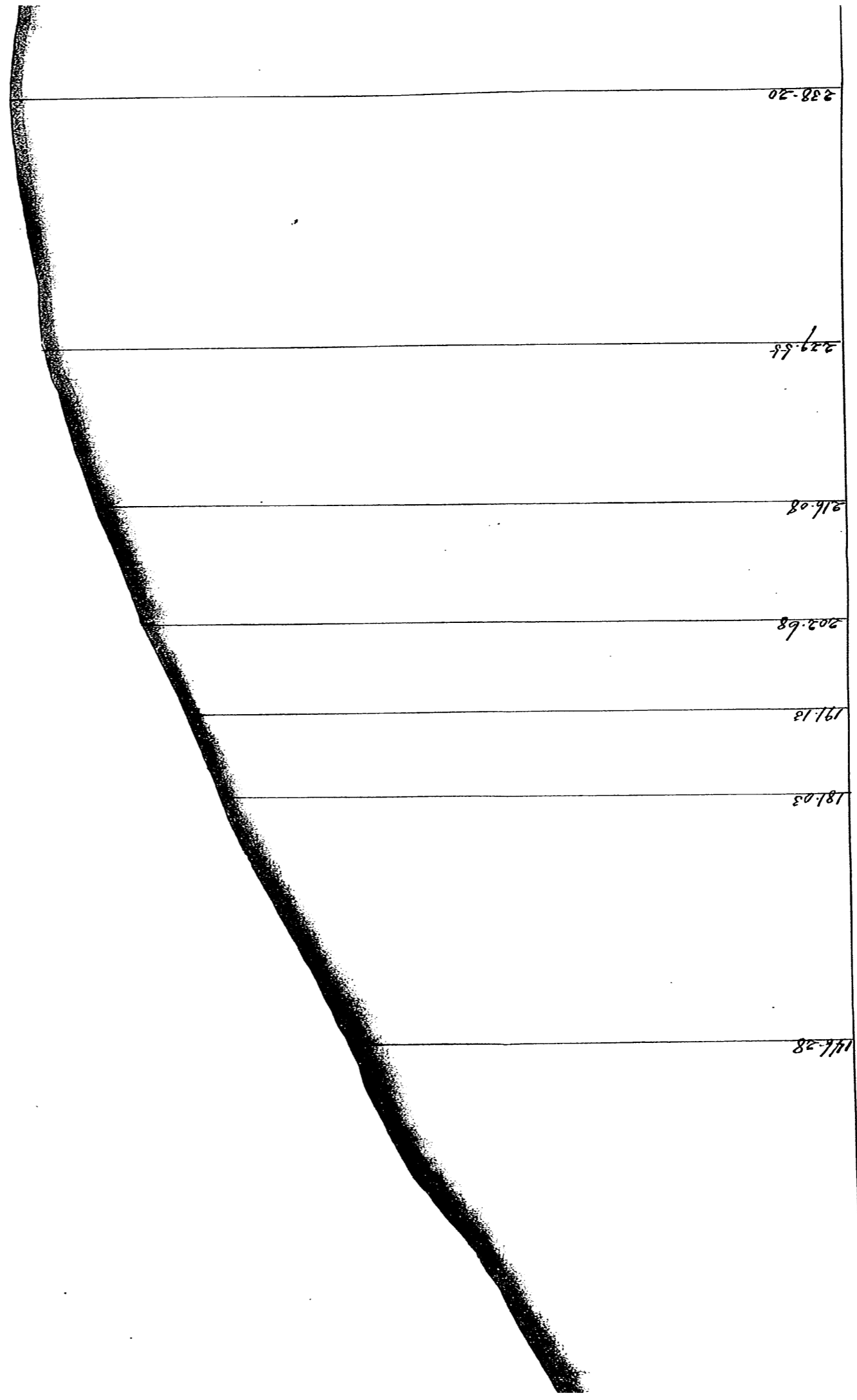
1300

1299

燈台敷地		
イ	321×97	31137
ロ	210×79	16590
ハ	171×60	10260
ニ	523×313	163699
ホ	222×14.5	3219
ヘ	184×29.5	5438
ト	132×21	2772
チ	257×11.5	18395.5

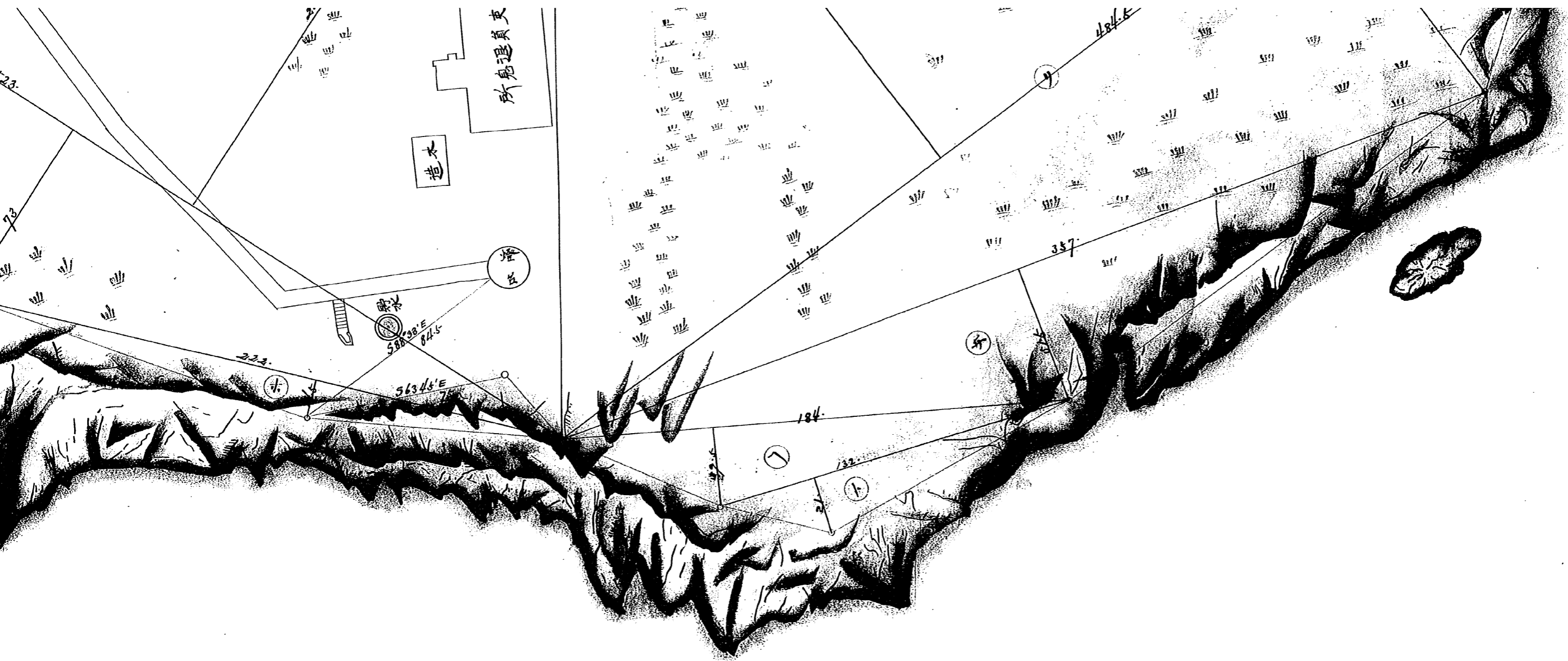


1301

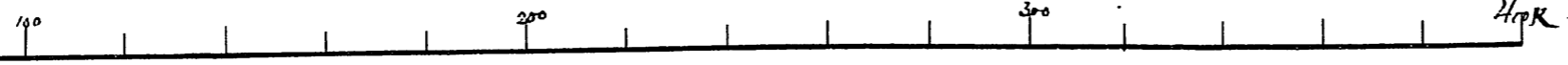


海跡

A. 日. 概. i



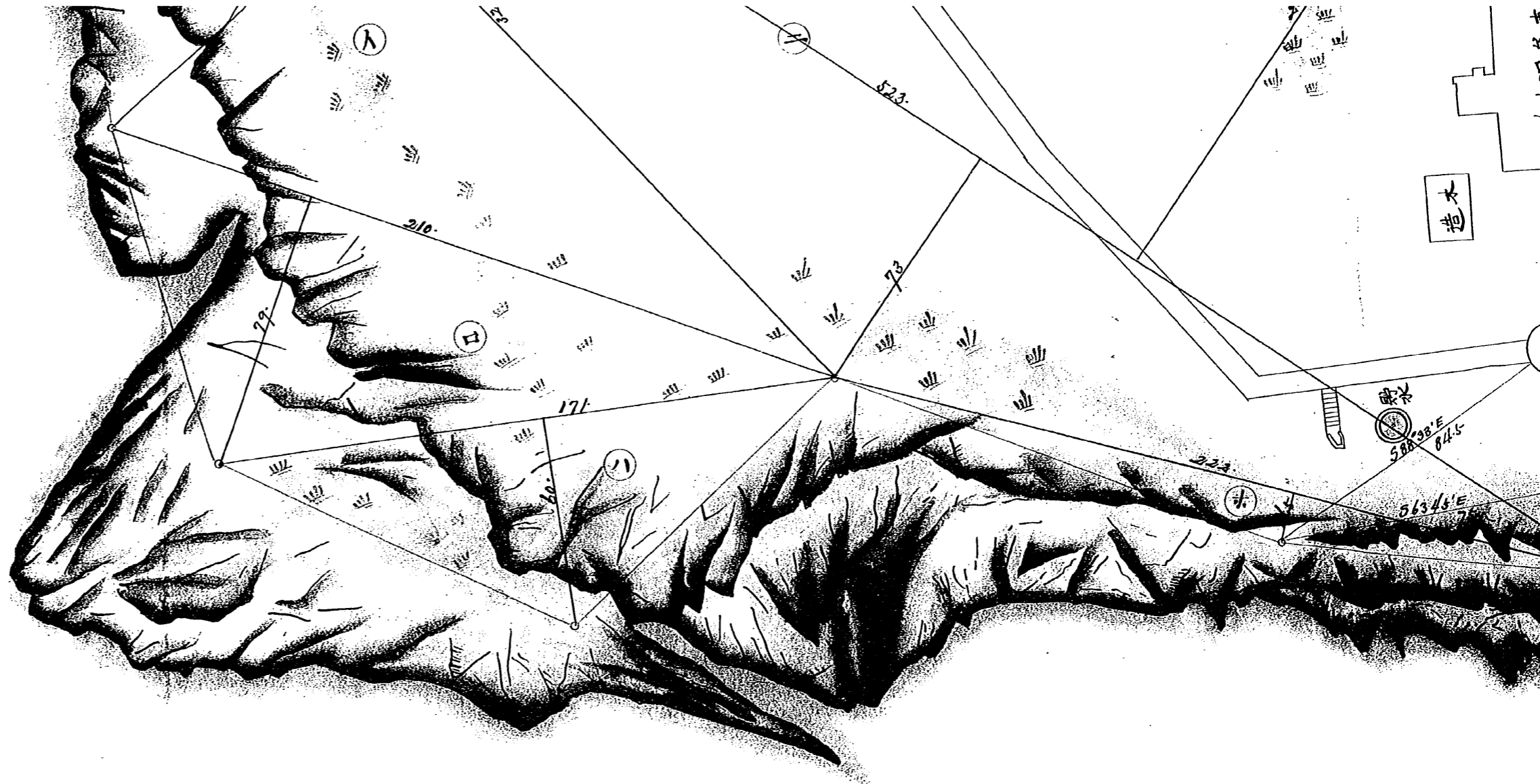
1
400



1302

1301

口	210x79	16590
ハ	171x60	10260
ニ	523x313	163699
ホ	222x14.5	3219
ヘ	184x29.5	5428
ト	132x21	2772
チ	387x51.5	19985.5
リ	484.5x331.5	160611.75
		412103.25
		$\frac{412103.25}{2} = 206051.625$
		$\frac{206051.625}{36} = 5723.642$
		$\frac{5723}{30} = 190.766$



分割撮影ターゲット


分割した 部分の撮 影順序	15	16	
	13	14	
	11	12	
	9	10	
	7	8	
	4	5	6
	1	2	3

分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
------------------	-----------

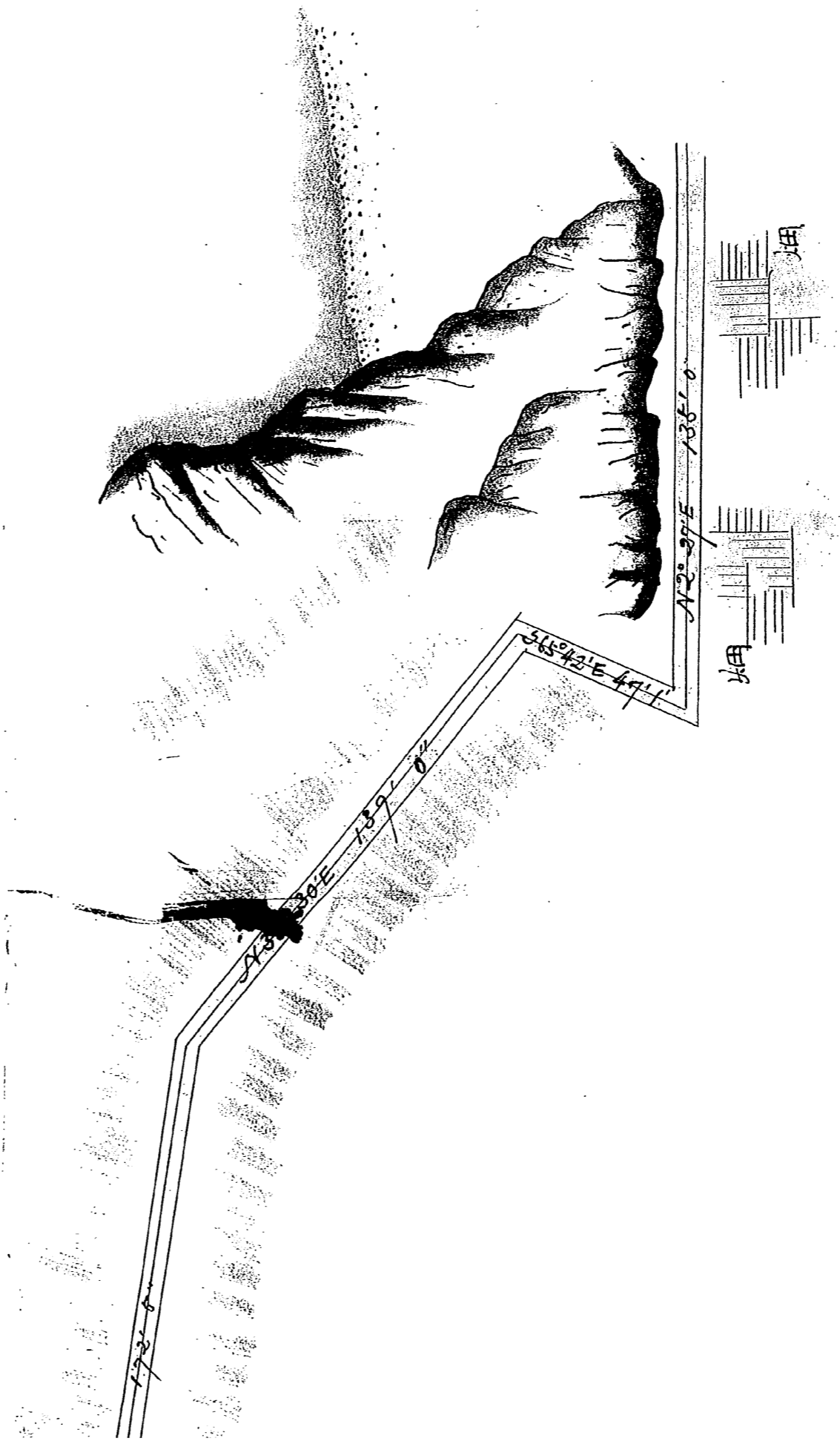
上記のとおり分割撮影したことを
証明する

9 年 8 月 29 日

主務者又は

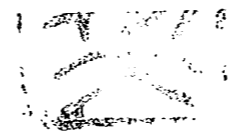
撮影立会者 坂根嘉和 

1304

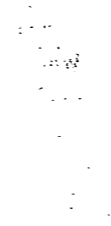
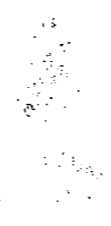
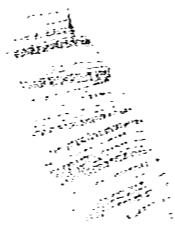


1305

04



1308



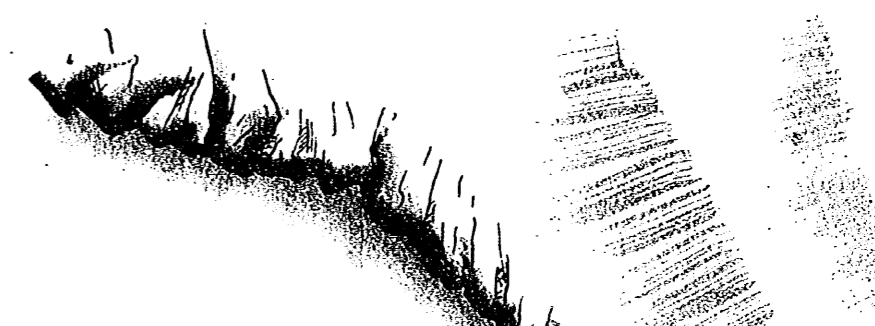
208

1306

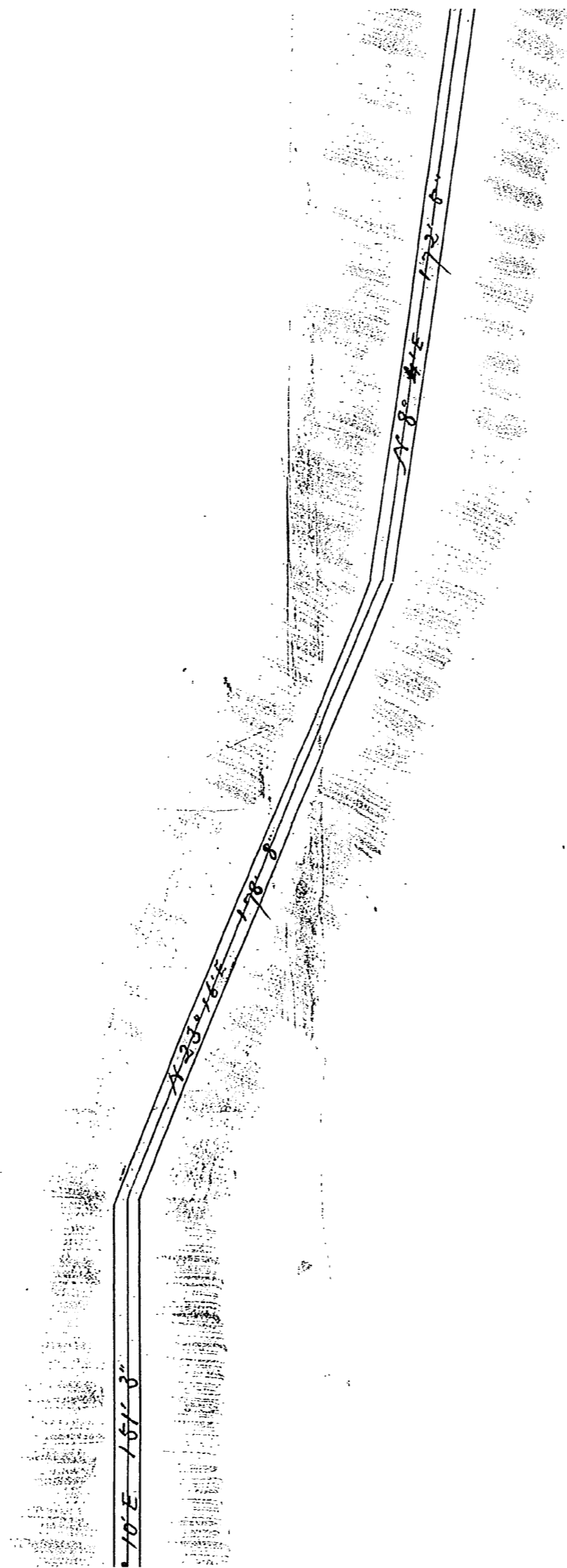
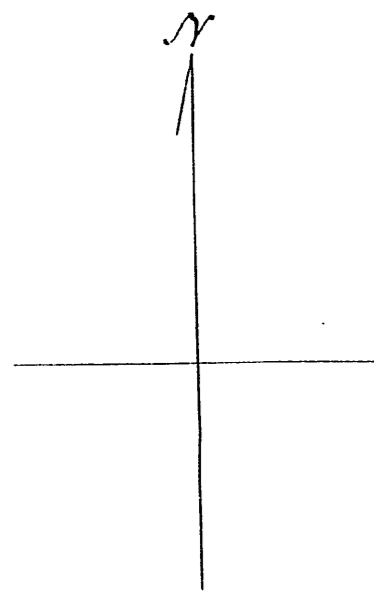
1305

1309

1308



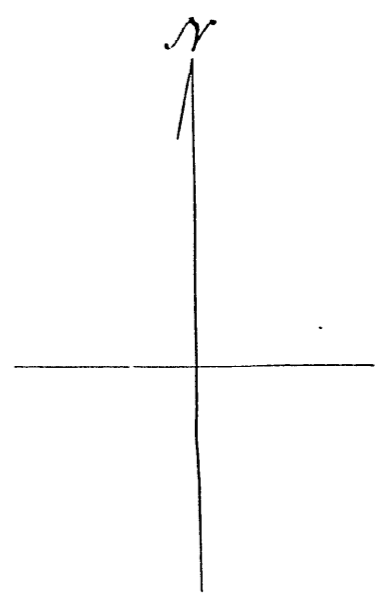
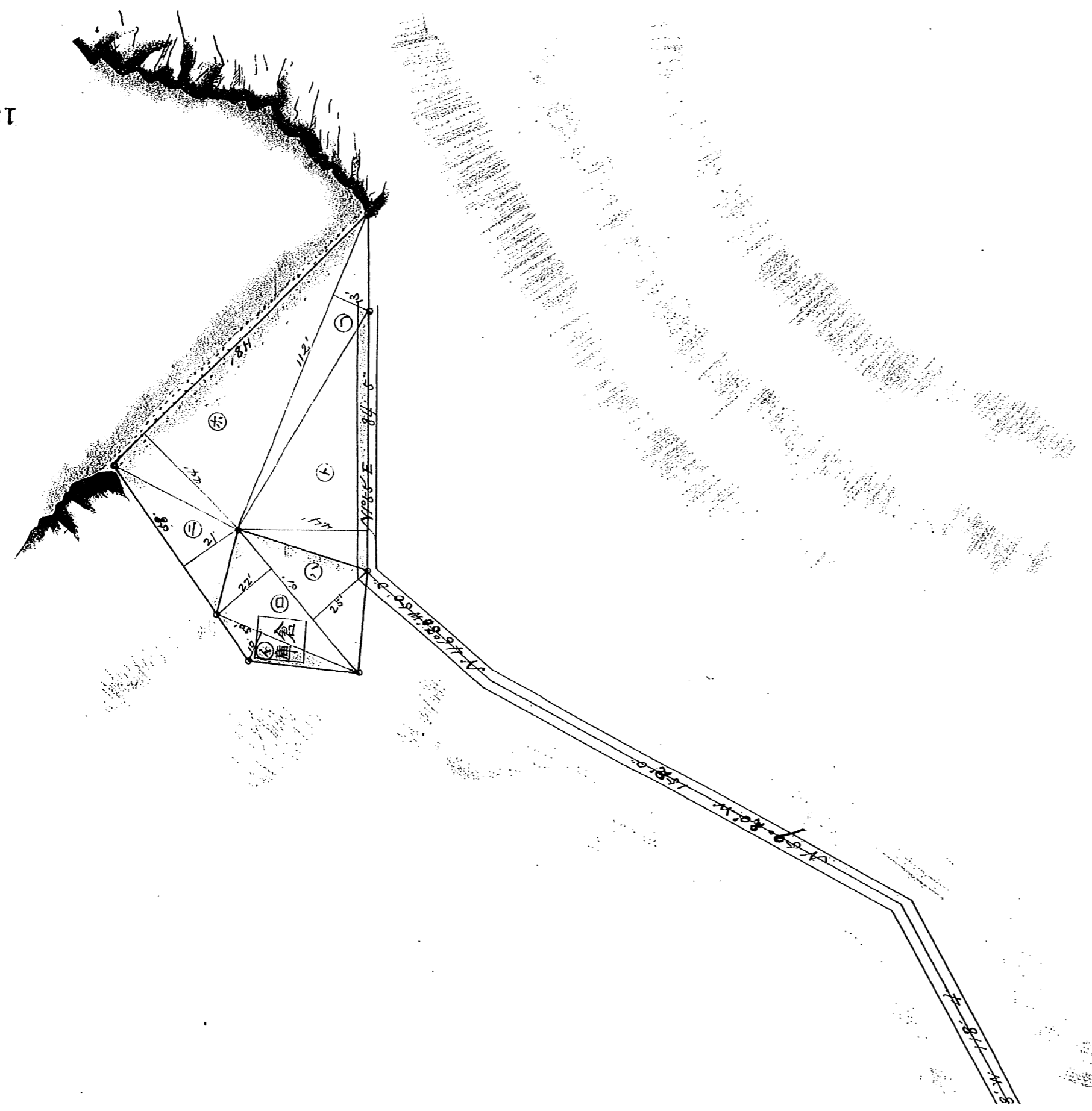
1307



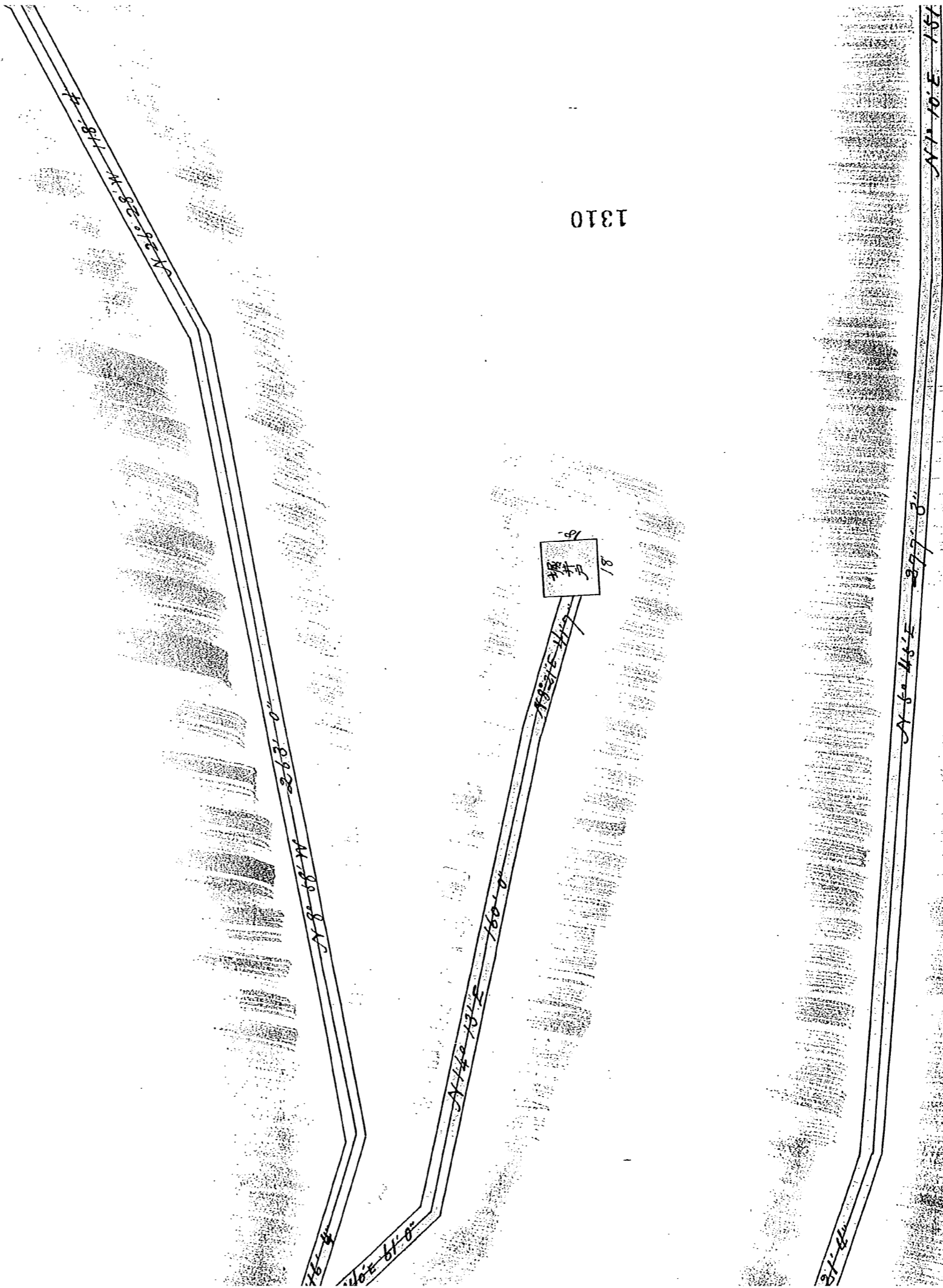
22

1308

1307



1312



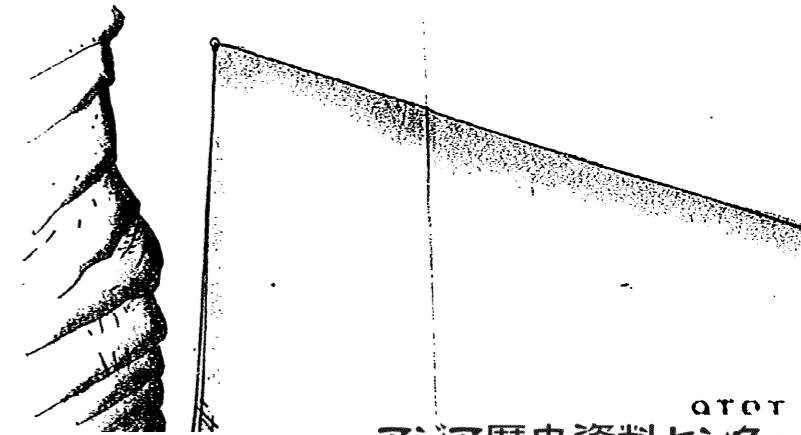
1310

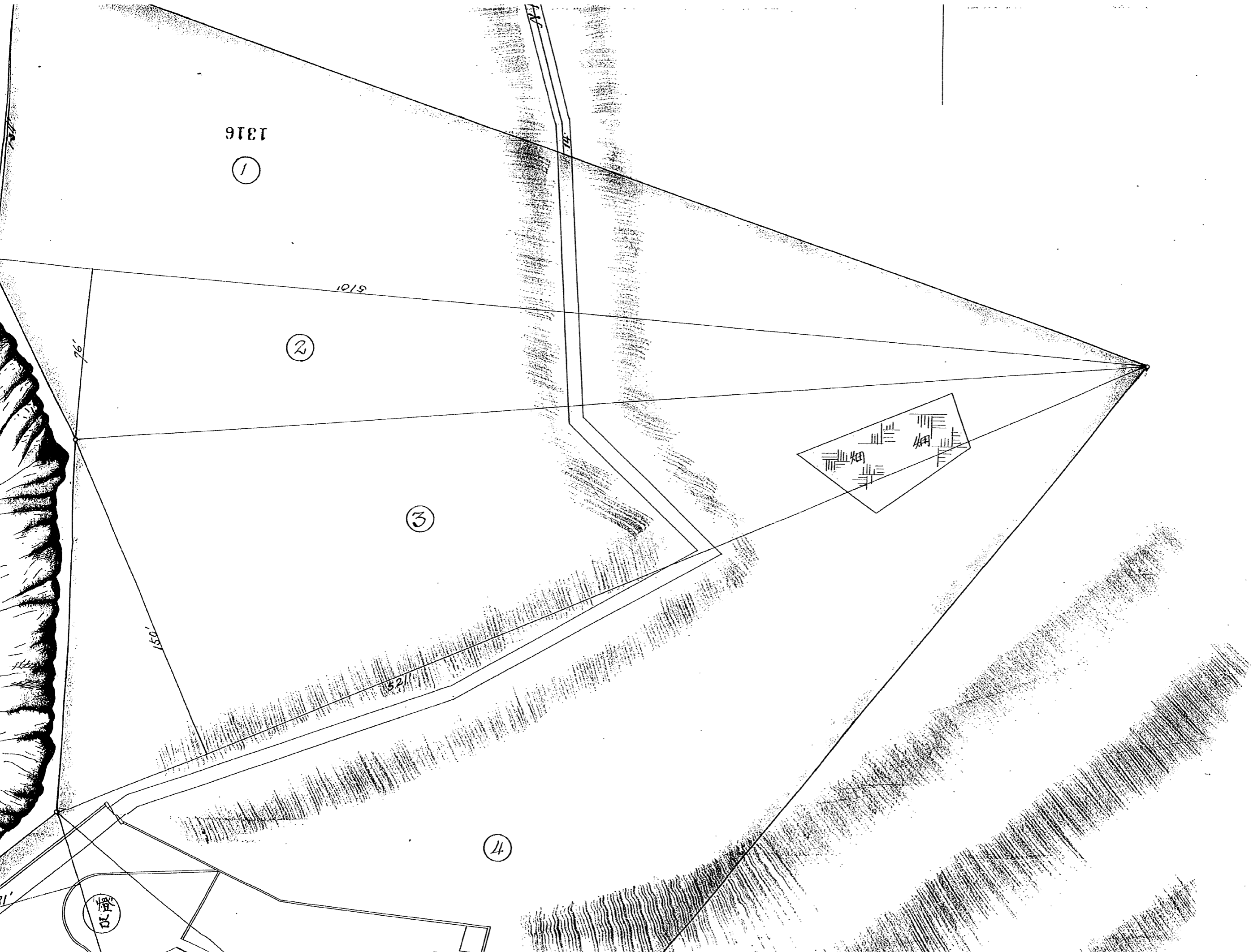
1311

1312

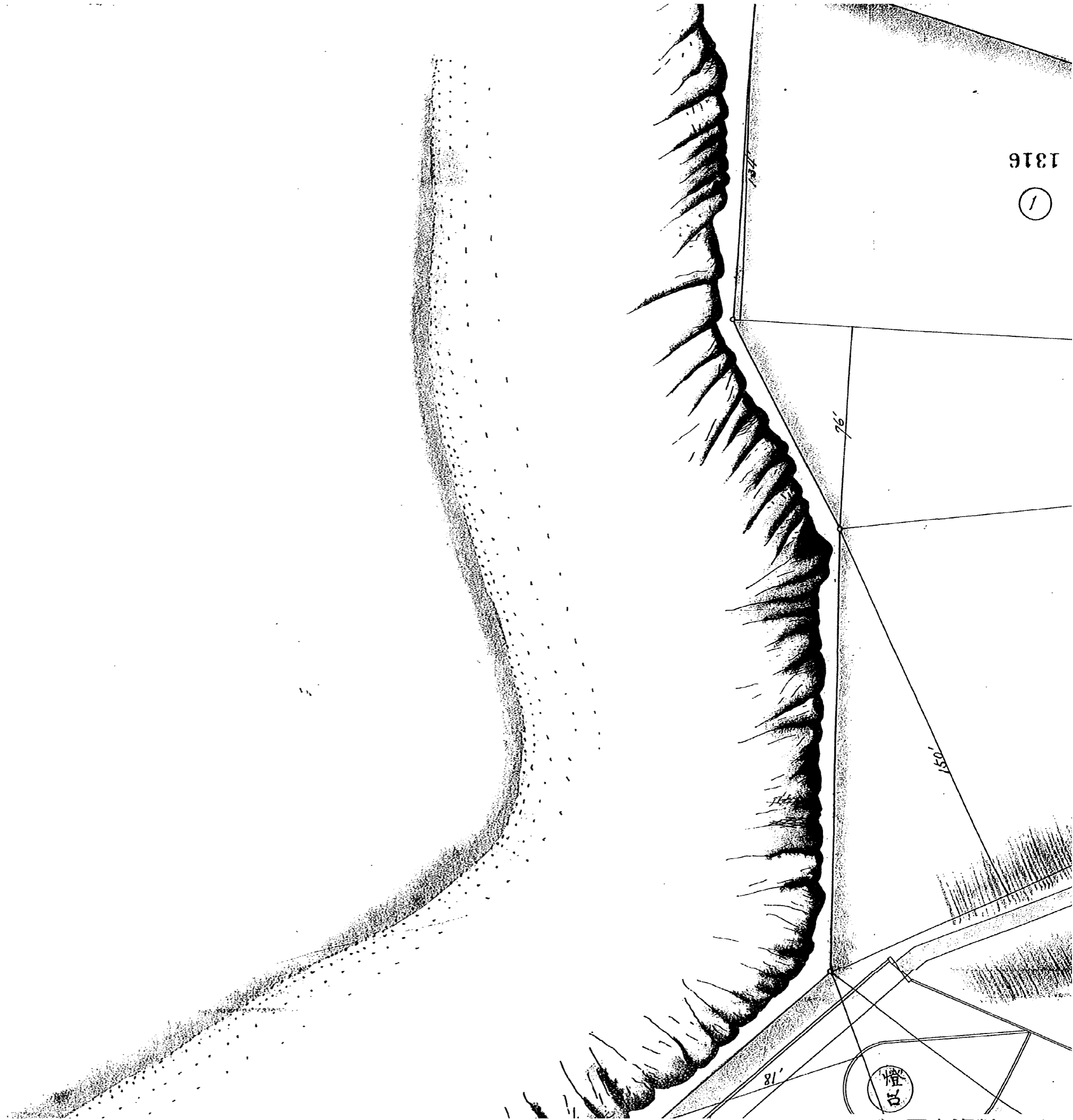
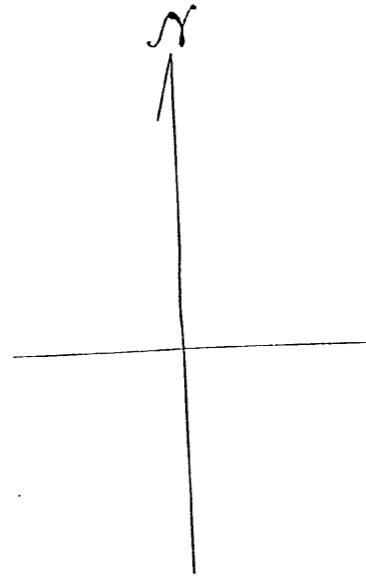
1313

老鐵山燈臺敷地及道路圖





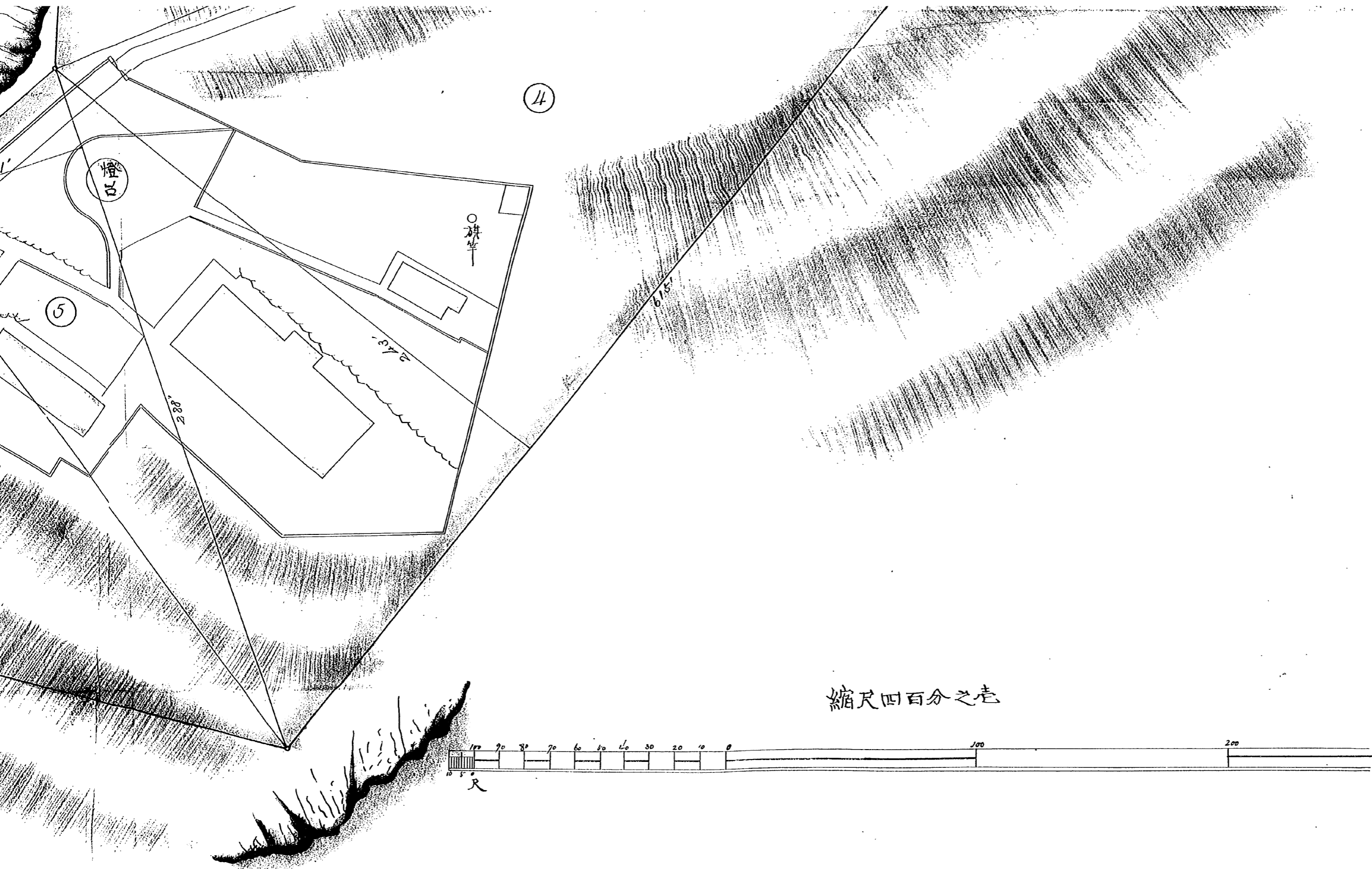
1317



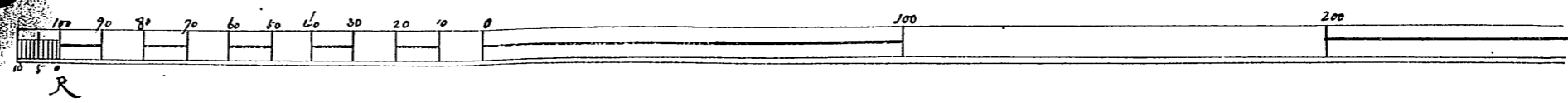
1316

(1)

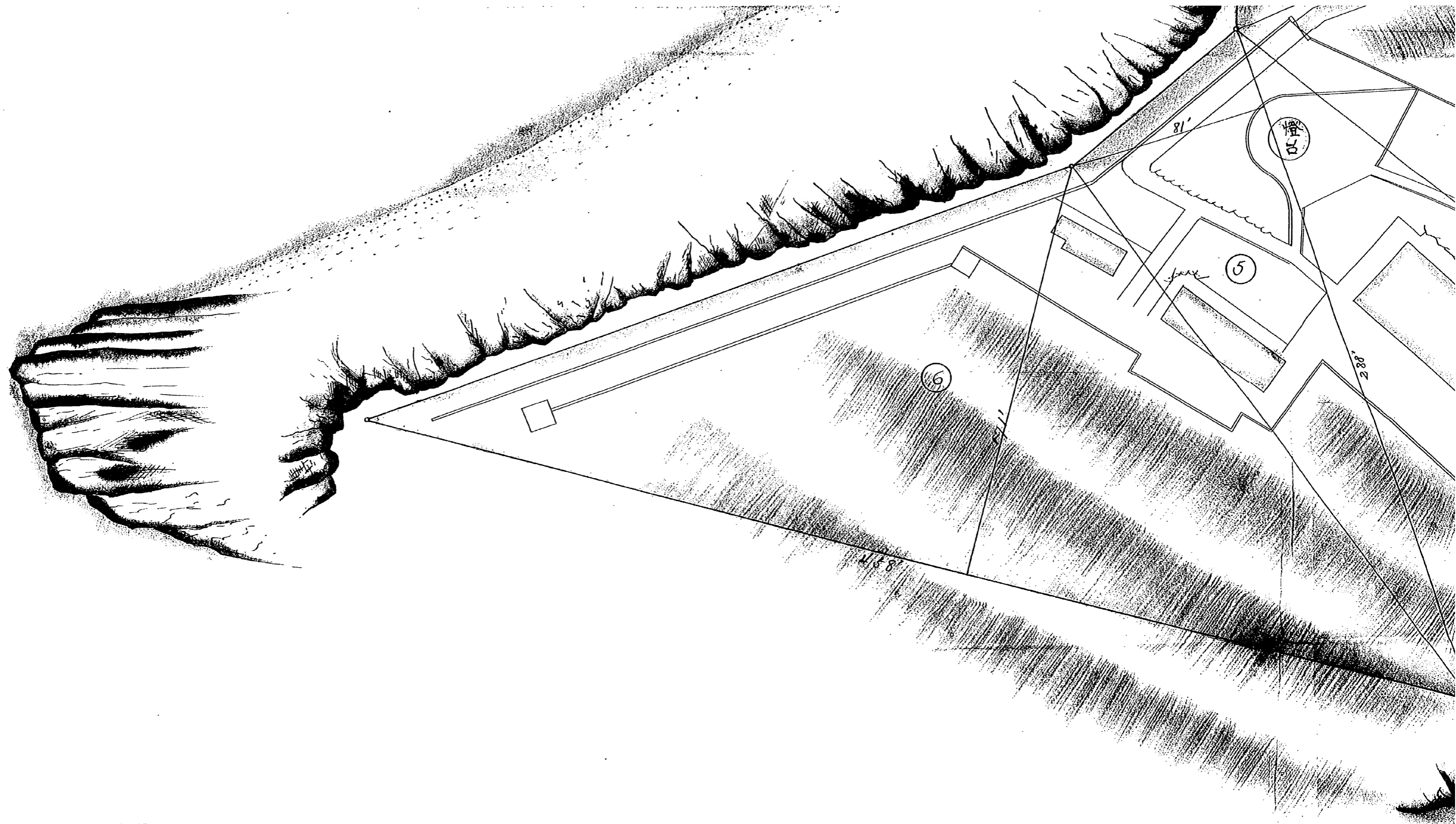




縮尺四百分之壹



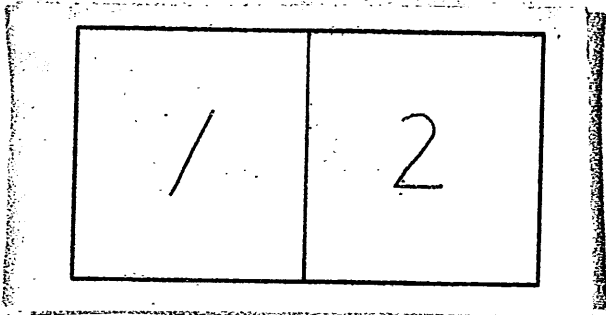

1318



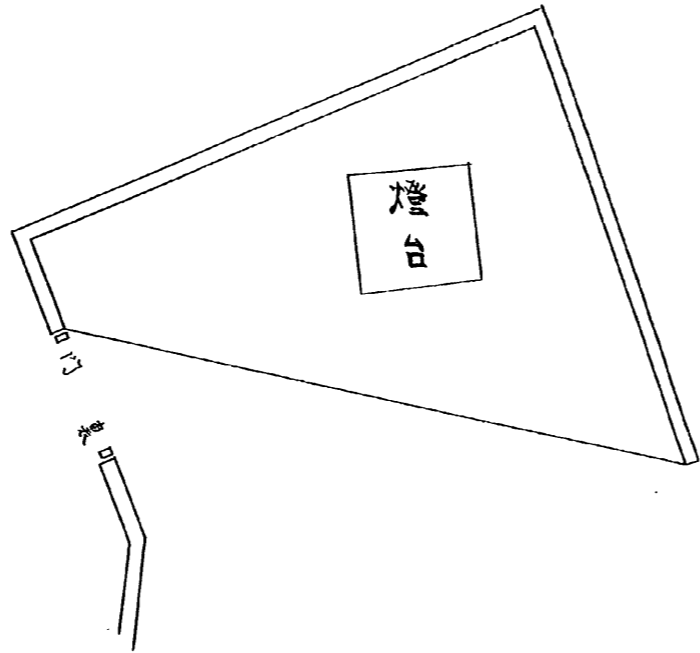
1319

81

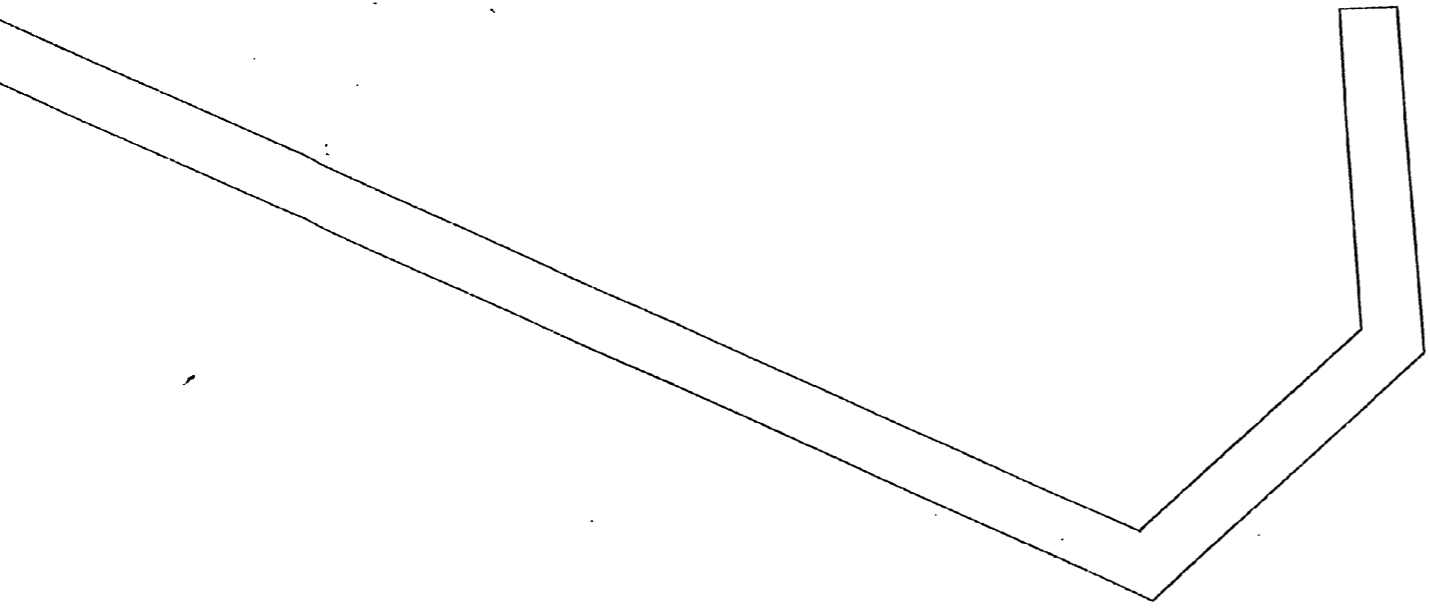
分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>9 年 8 月 29 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

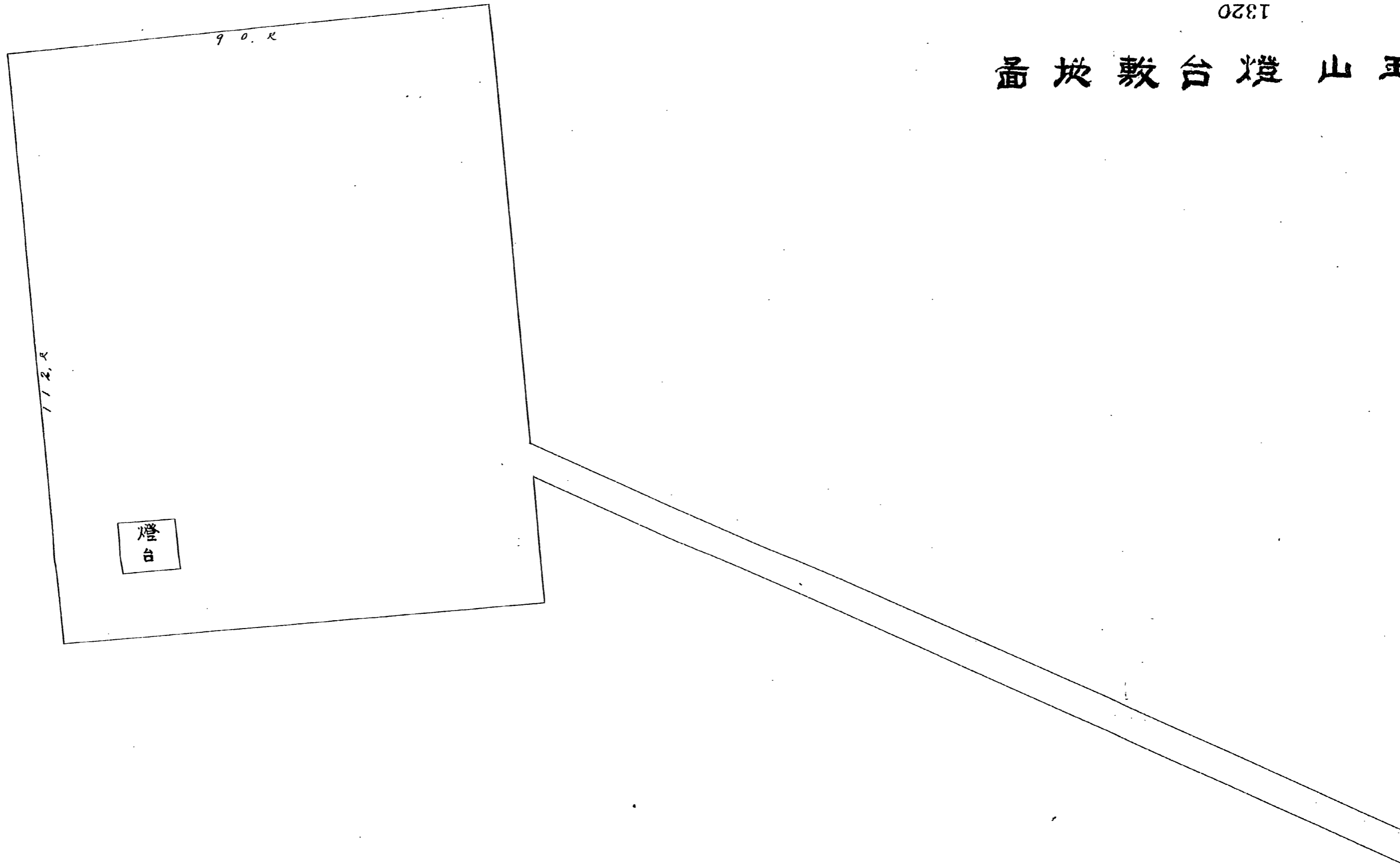
白玉石山燈台敷地畵




- 一 高燈敷地 約百八拾坪
- 二 低燈敷地 現在柵域内、半部
- 三 道 路 高燈より低燈に至る交通路(一部) 長四十間巾六尺



五山燈台敷地圖



分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="528 443 1034 831"><tr><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	5	6	3	4	1	2
5	6						
3	4						
1	2						
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>9 年 8 月 29 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>							

老虎尾燈台敷地

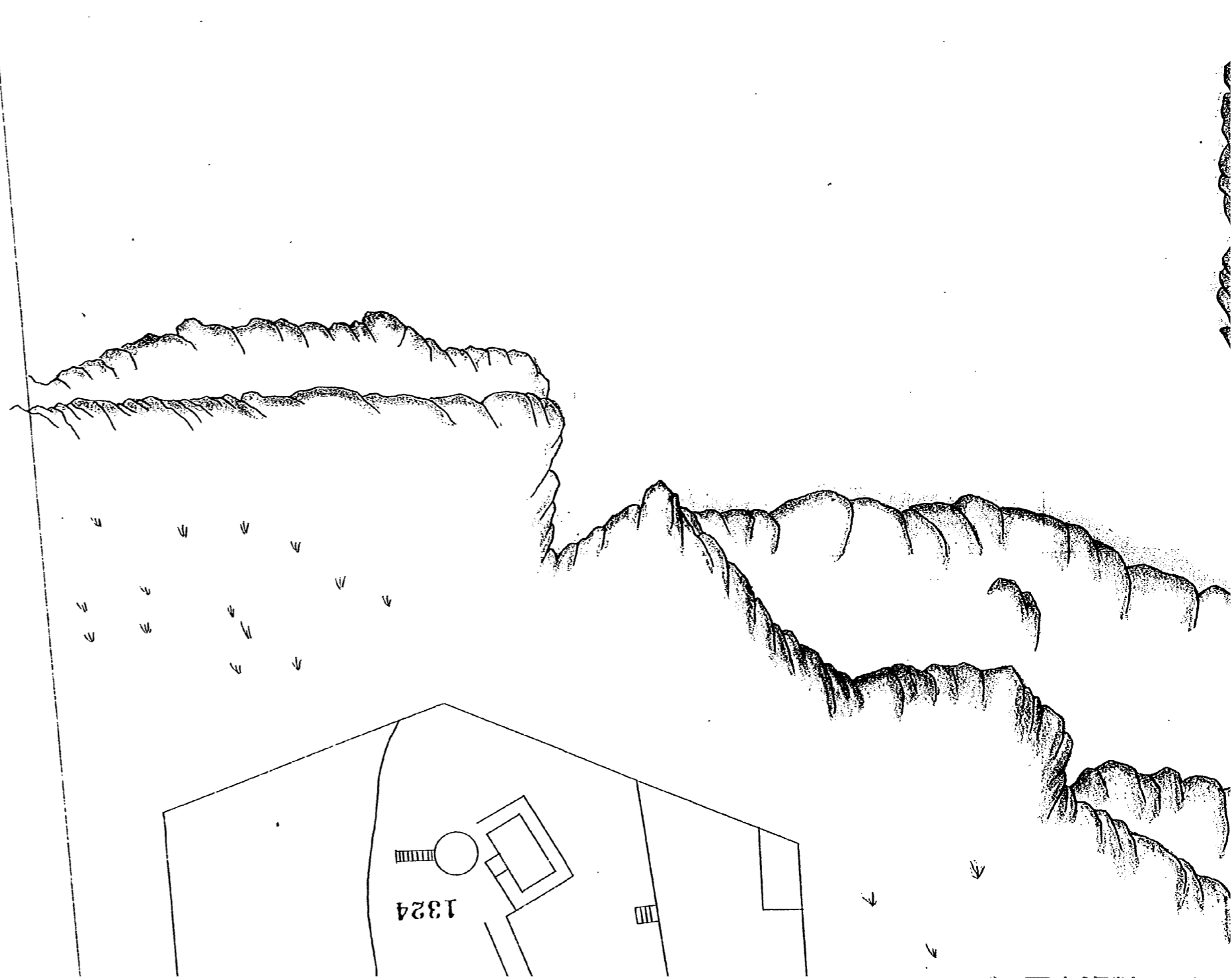
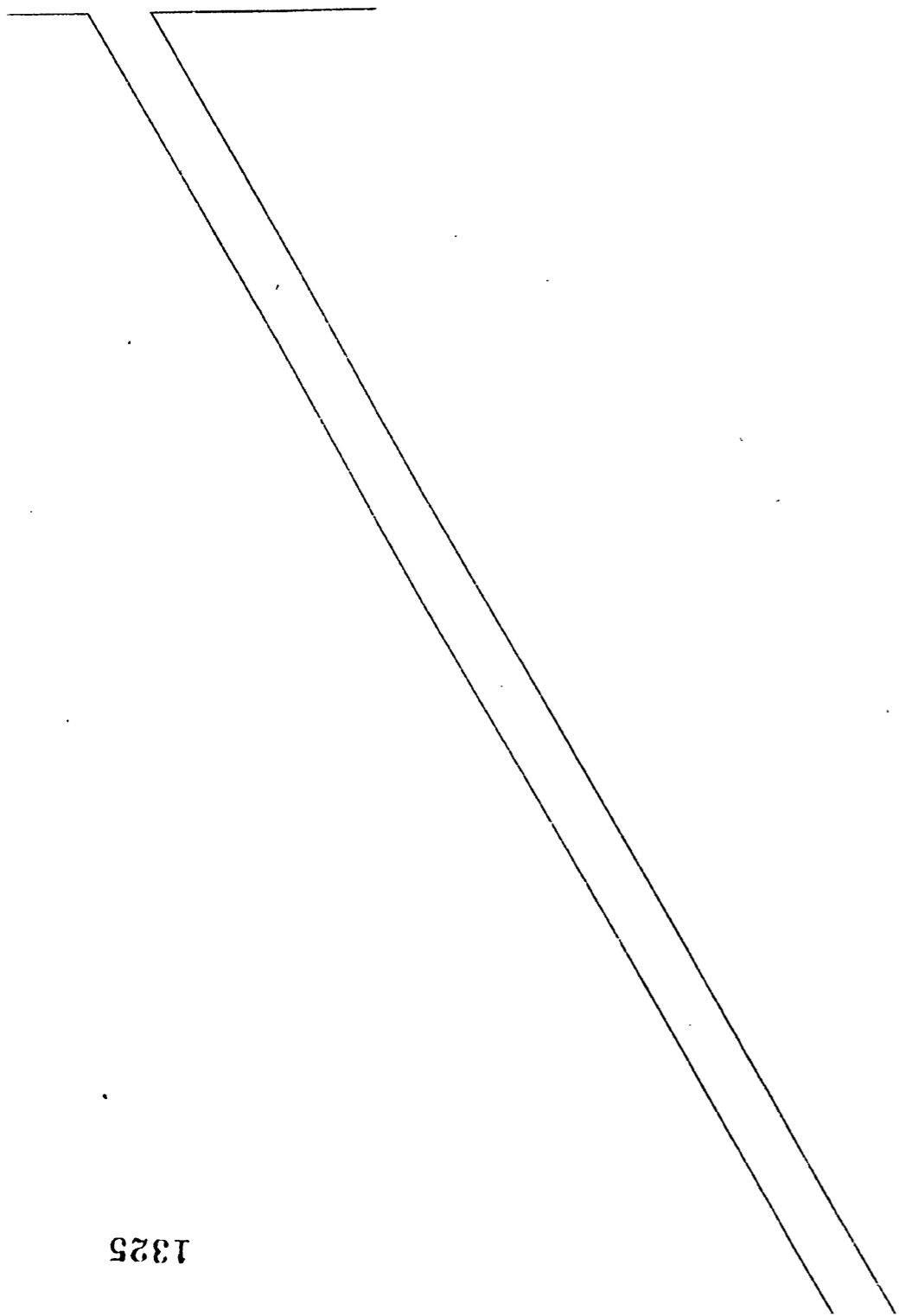
一 燈臺敷地
 現在建物區劃外方拾四、距離、各海岸至、
 線内(朱線區内)
 一 道 路 延長五拾七間、中六尺



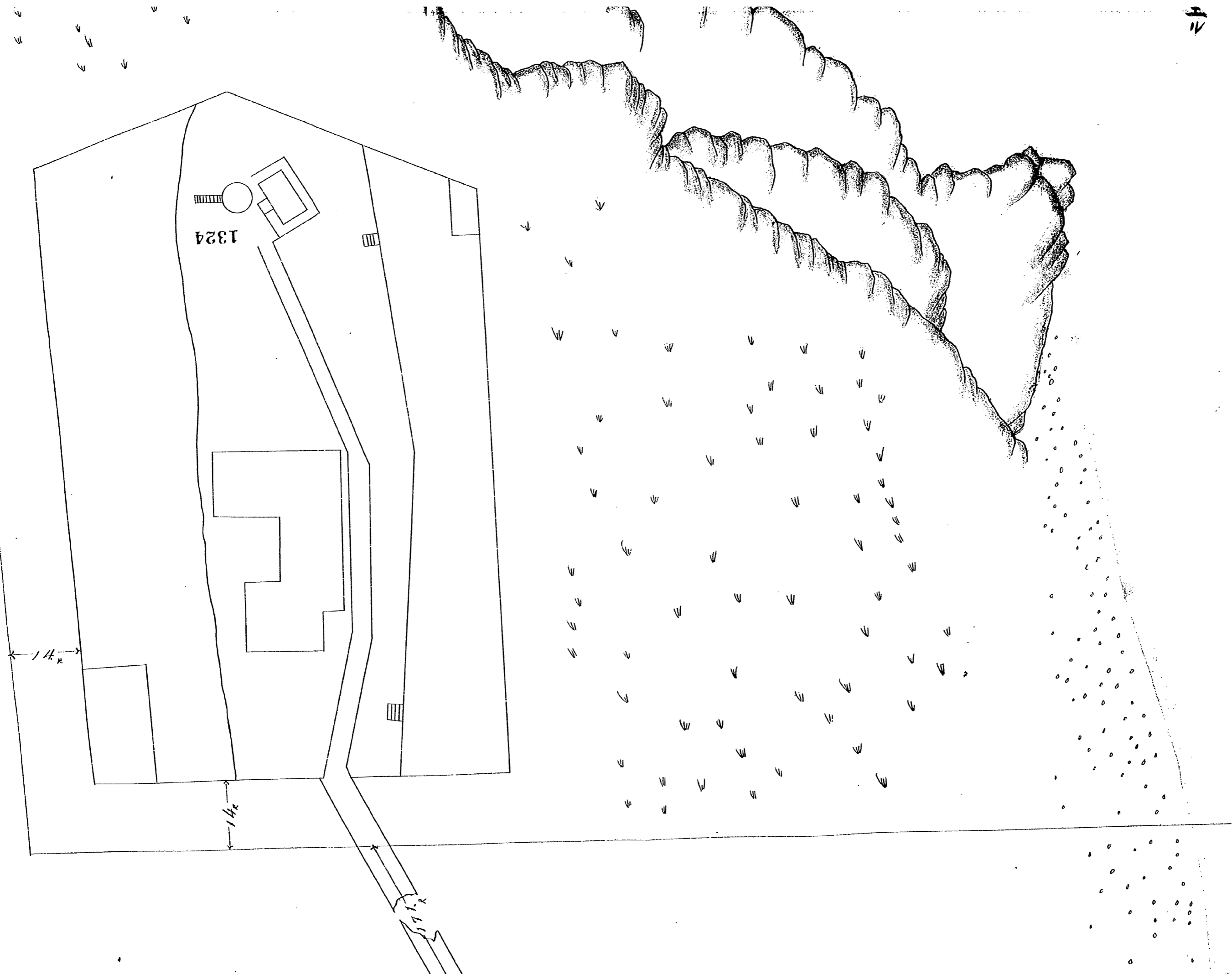
1323

1822

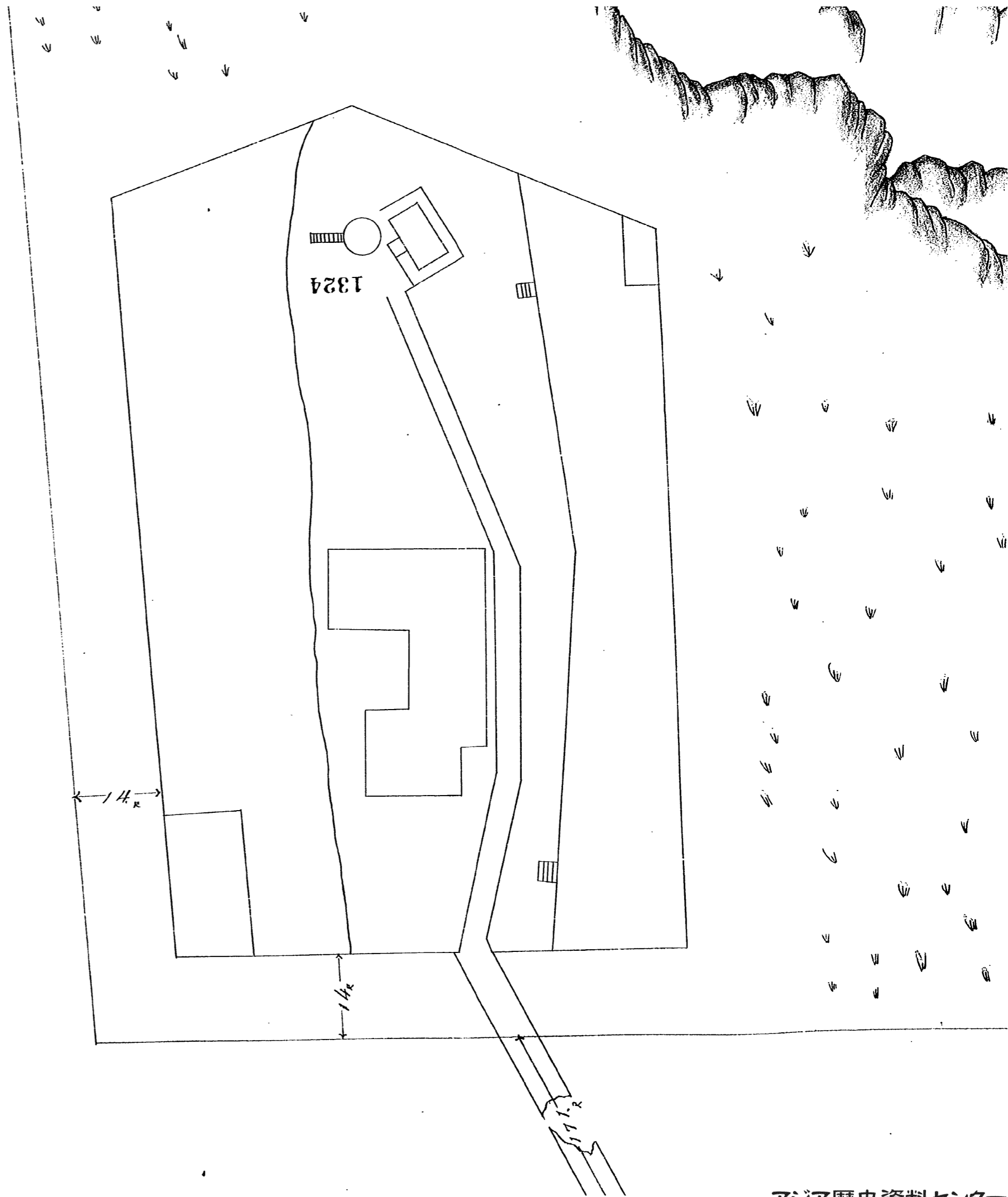
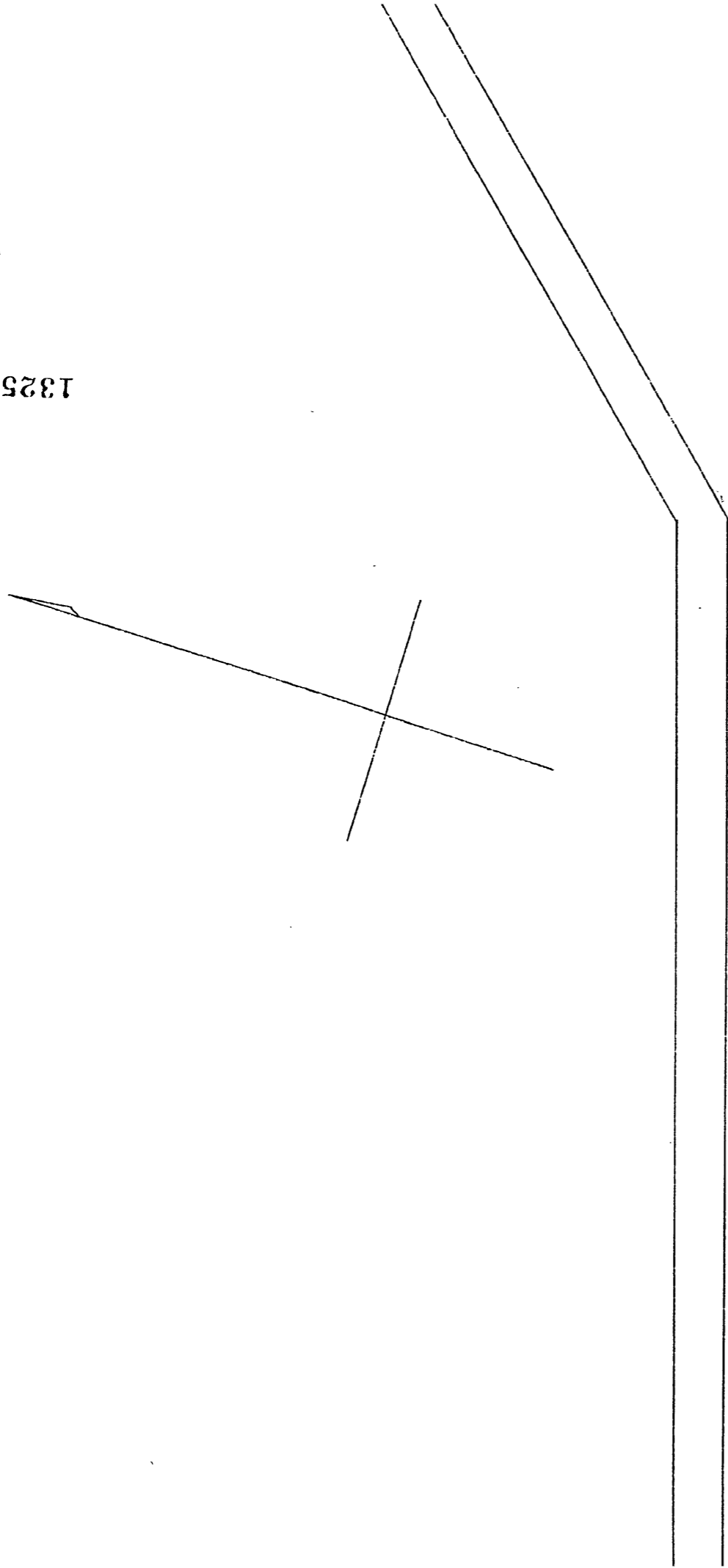
老虎尾燈台敷地圖

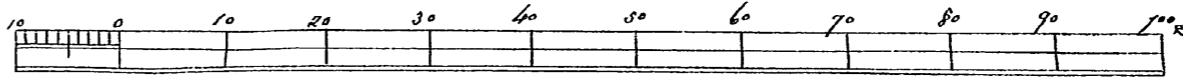
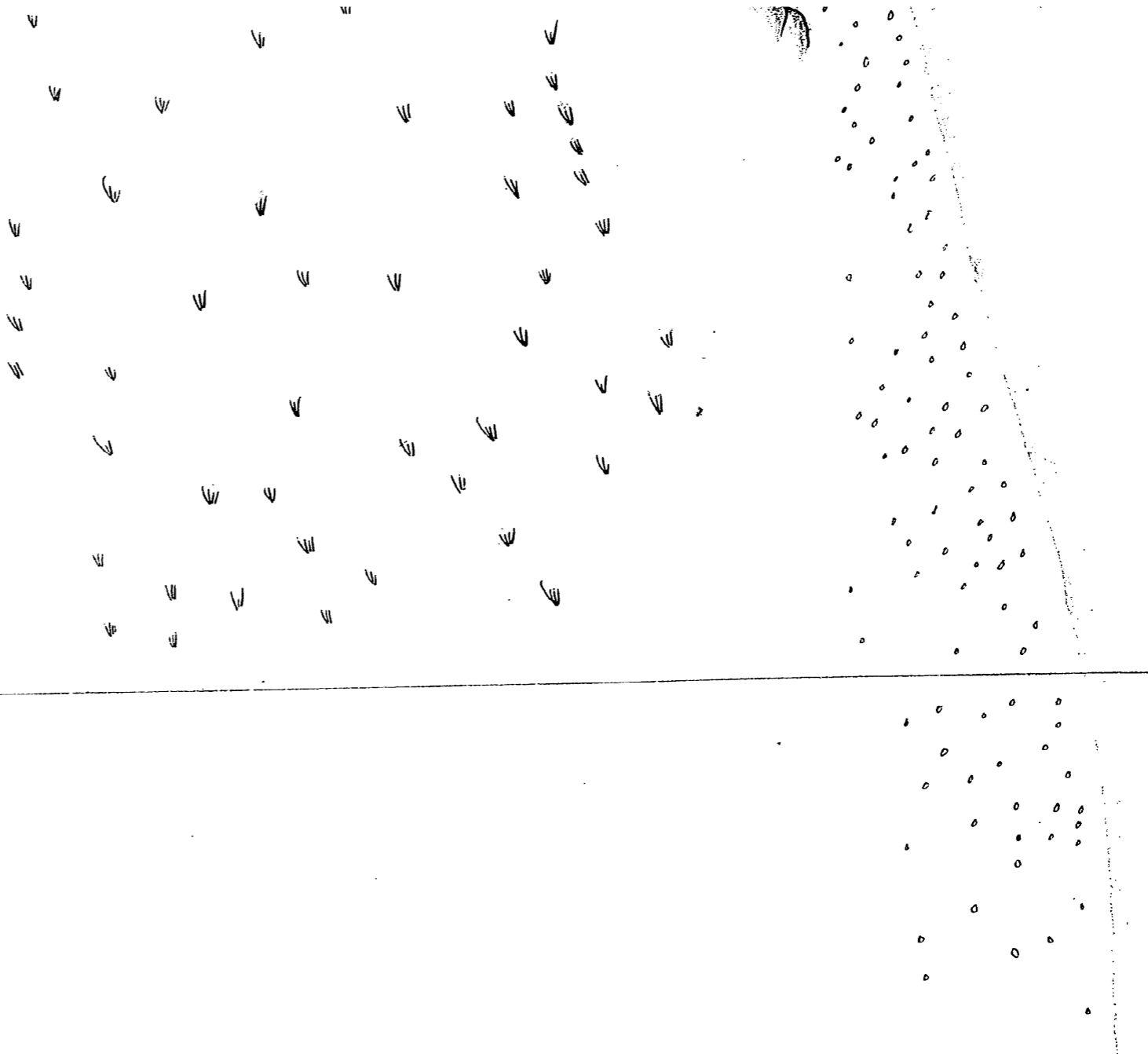
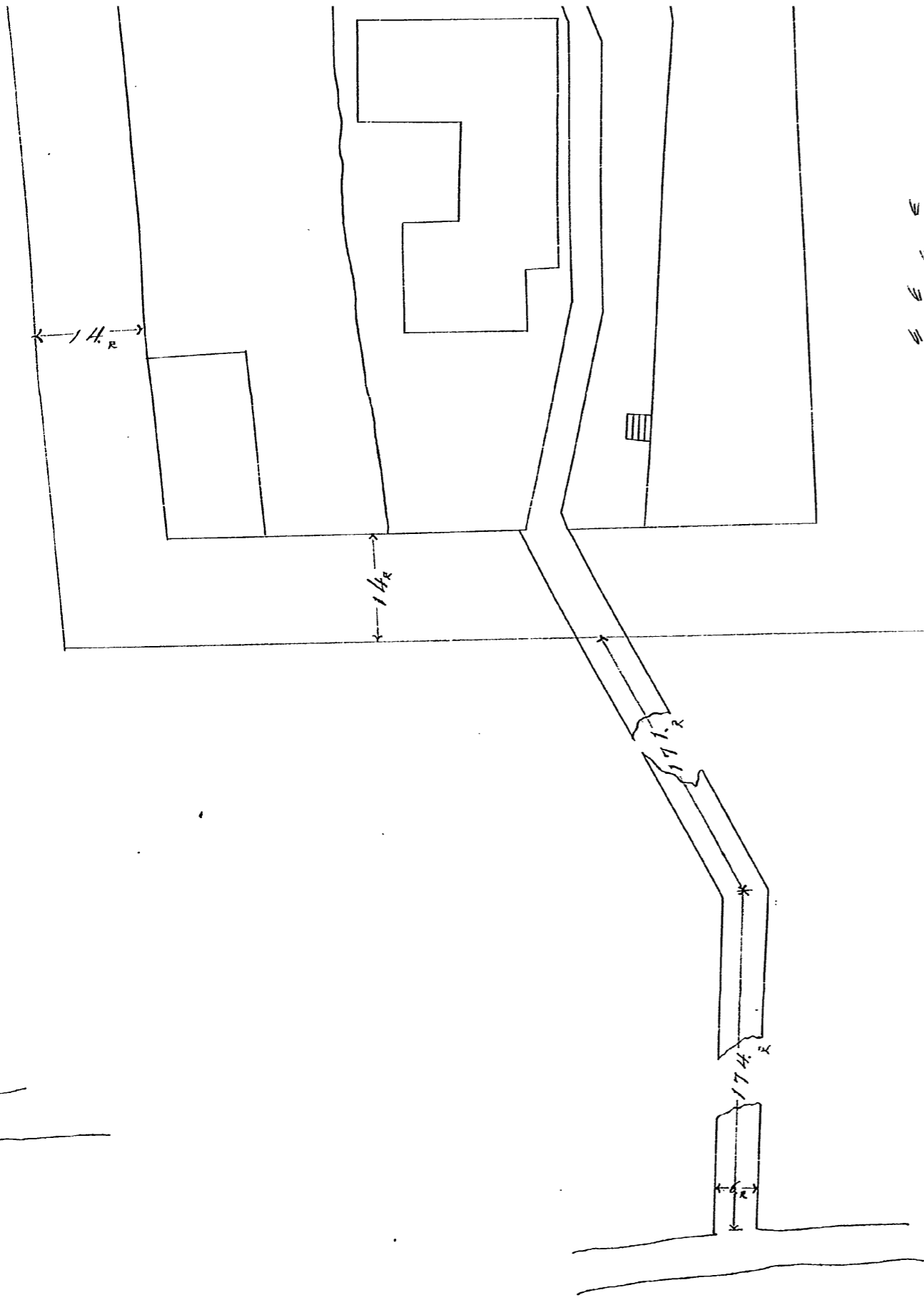


1325



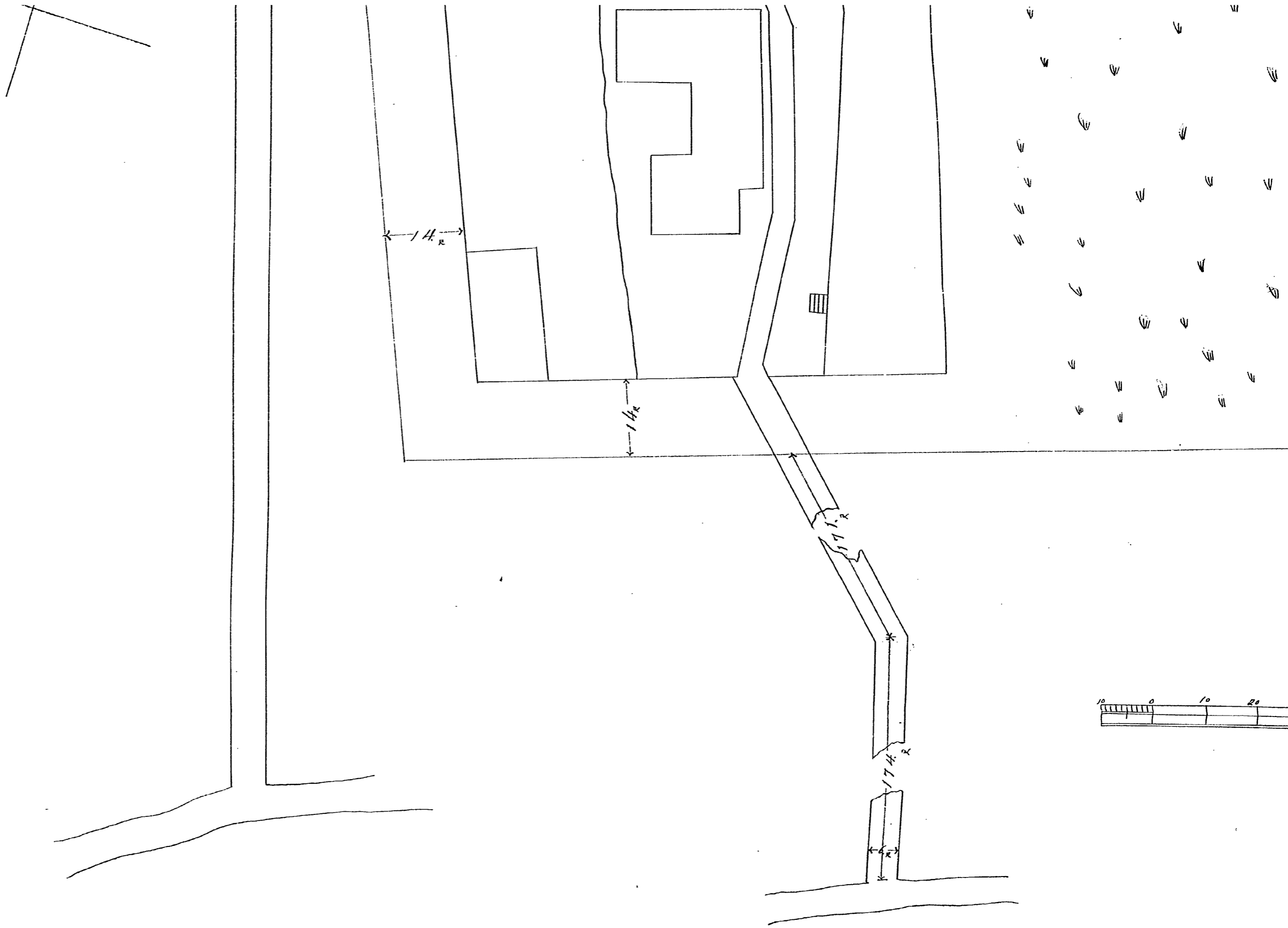
1325





比較尺 $\frac{1}{200}$

1326



1326

1327



1328

關東都督府陸軍參謀長 一〇二

明治四十一年一月六日

關東都督府陸軍參謀長 星野金吾

陸軍省 副官 三花 一 部 取

十二月五日附陸軍省第一〇一號ヲ以テ
照會 三花 旅次 先鋒 山 登 台 分 三 燈
基 用 敷 地 永 久 使 用 ノ 件 二 果 二 通 信 大
陸 軍 省 照 會 書 二 年 之 右 二 決 議 上 必
要 二 付 至 急 申 出 送 付 本 局

送付 了 了 了

軍

抄

明治四十一年二月十七日

關東都督府陸軍參謀長星野金吾

陸軍省副官立花小一郎殿

客年十二月二十四日陸普第一六〇一號ヲ以テ詠頌

老鐵山燈臺外三燈臺用敷地永久使用之儀ニ

付御照會之趣了承右ニ無差支意見有之候

奉此段及回答奉也

返テ奉文ノ件ニ関シ詠頌鎮守府ノ意見見出

合共懸支障無之趣ニ付右半添奏尚以回

附ノ別紙書類三通及圖面二葉及び返書奉

關東都督府陸軍參謀長星野金吾

三月廿四

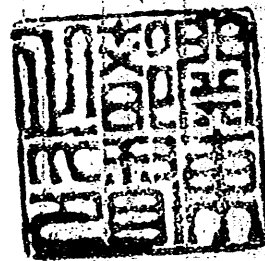
三月廿四



明治四十一年四月三十日

関東都督子爵大嶋義昌

陸軍大臣子爵寺内正毅殿



老鐵山燈臺外三燈臺用敷地ハ本月廿四
 日引継ヲ了シ其ノ引継書ヲ要塞司令官ヨリ
 航路標識管理所長一送付致美存此致
 及報告候也



陸軍部 参集 二二八 號

五月十四日

五月七日

陸軍部 五月九日